

ACTION COMICS



Presented by
FUJITSUYA

艶々

ひるがお

①

Presented by
TSUYATSUYA

艶々



目次 CONTENTS

第1話	疵	きず	5
第2話	貌	かお	29
第3話	閨	ねや	49
第4話	性	さが	71
第5話	曲	くせ	91
第6話	映	うつし	113
第7話	虚	うつろ	135
第8話	分	わかち	155

その頃の
僕はもう
知っていた

あつ

あつ

ああつ

アッ

あんの

すぐ
むこうにある
女の身体
からだ

あつ

あつ

あつ



母の姿——

あつ

第1話 疵 きず

いんぴ
淫靡という
言葉は
知らなくても

んっ

んんっ

身体が
感じていた

すきま
隙間の
むこうの

あうっ

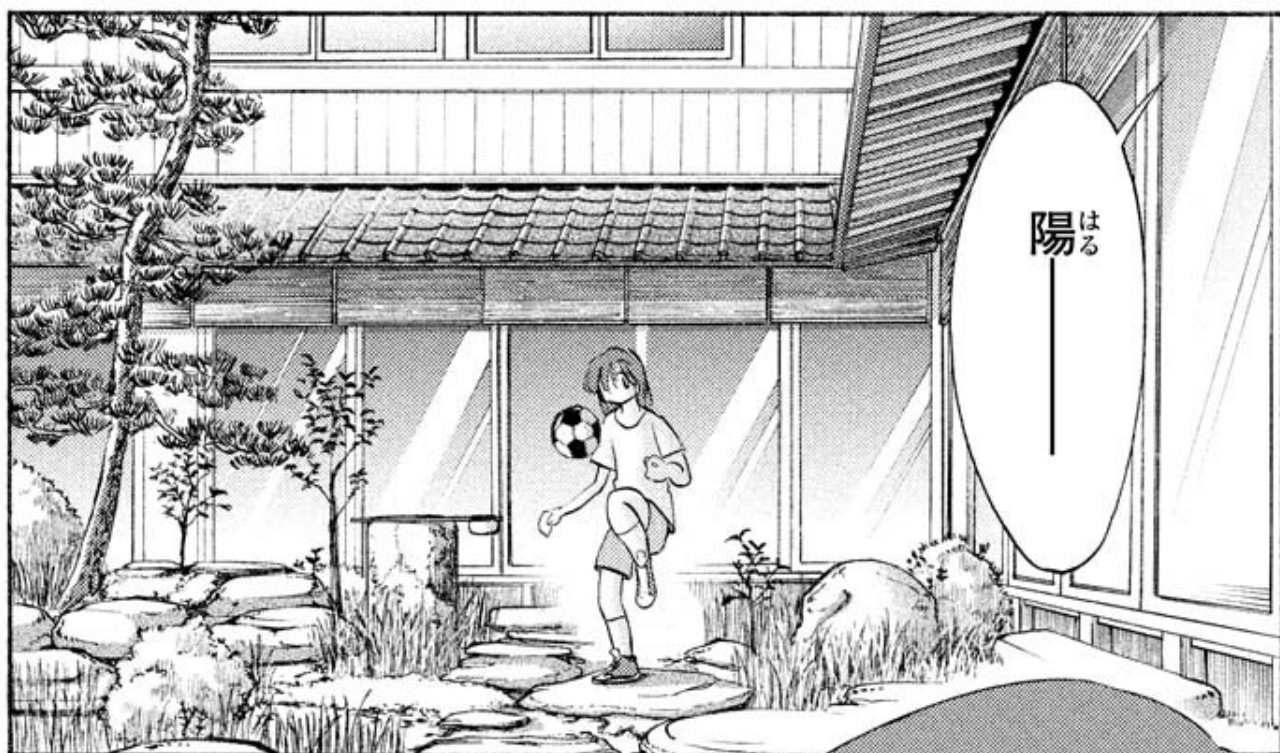
あっ

——
秘密

ひるがお

Presented by
TSUYATSUYA





母さんね
また出かけないと
いけないから

うん
わかったよ

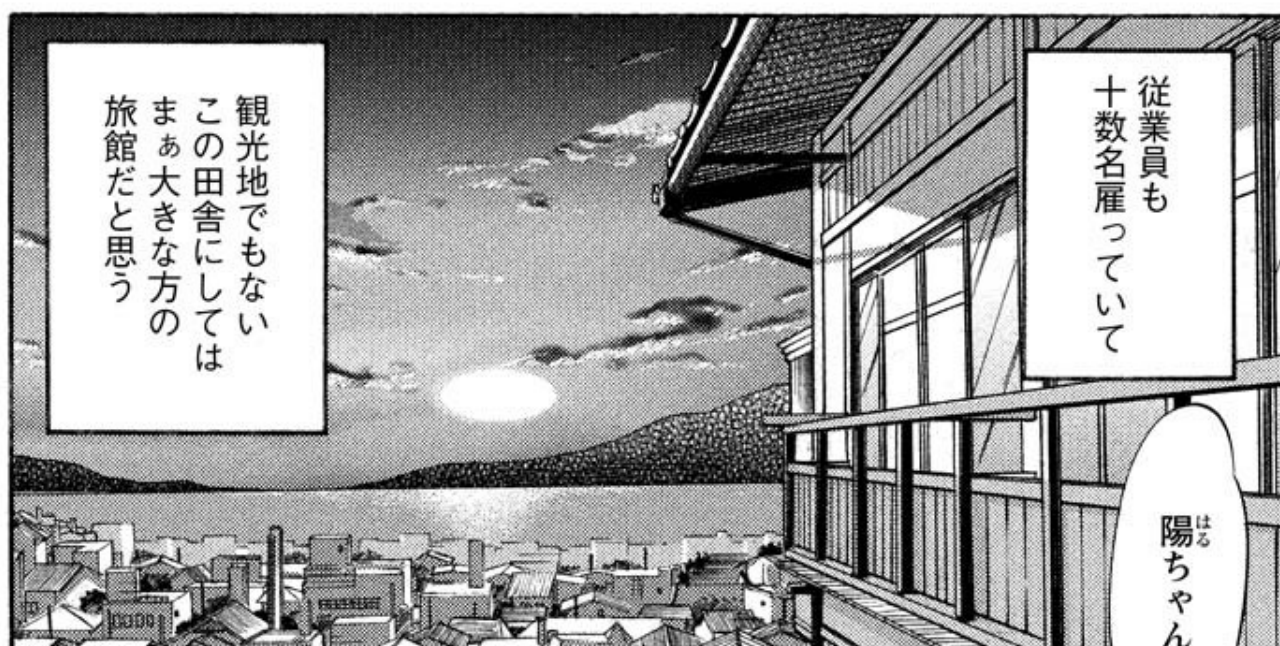
ウチは三代続く
古くからの
旅館で――

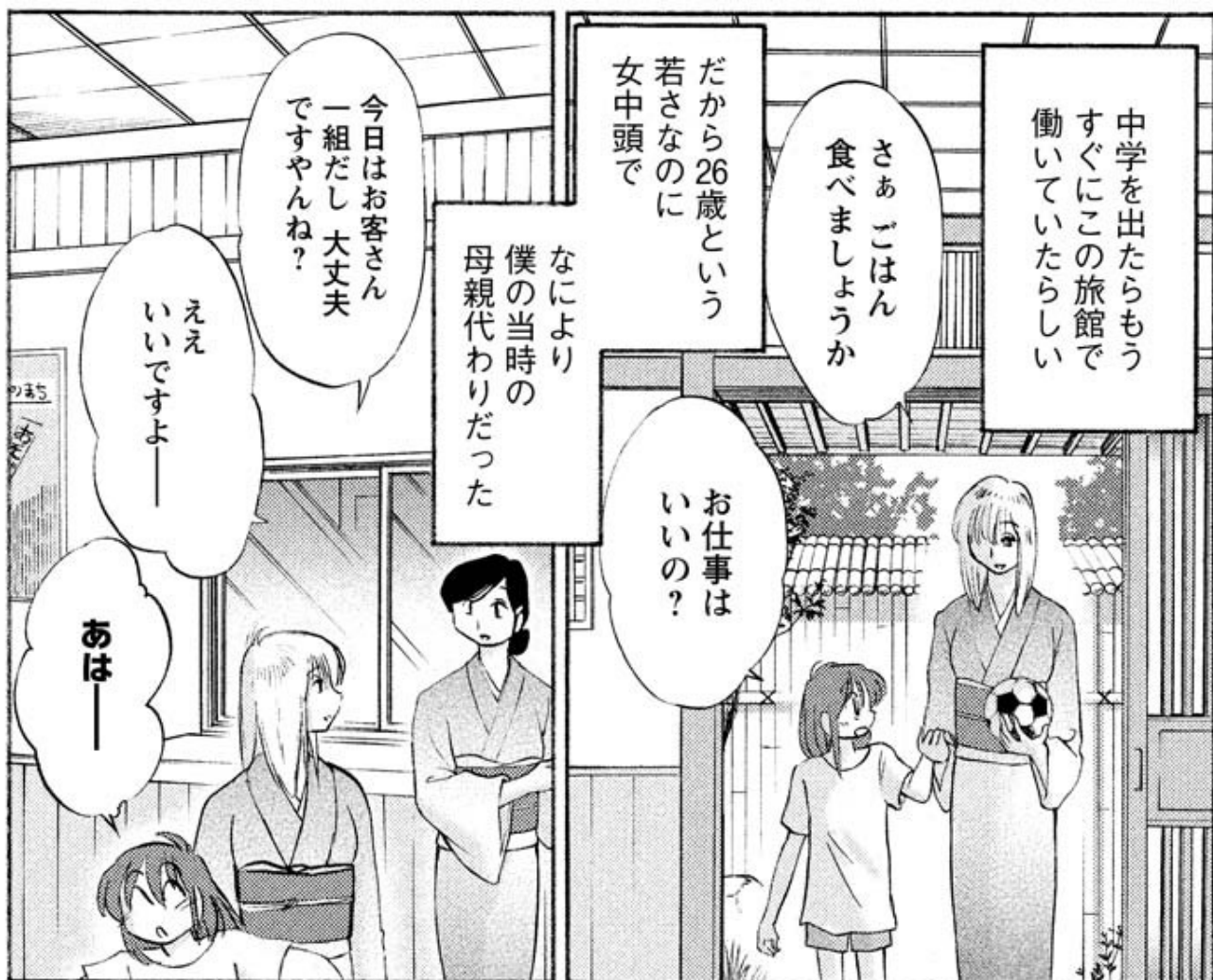
今日も陽^{はる}は
あやめとごはん
してね

じゃ
行きましょうか

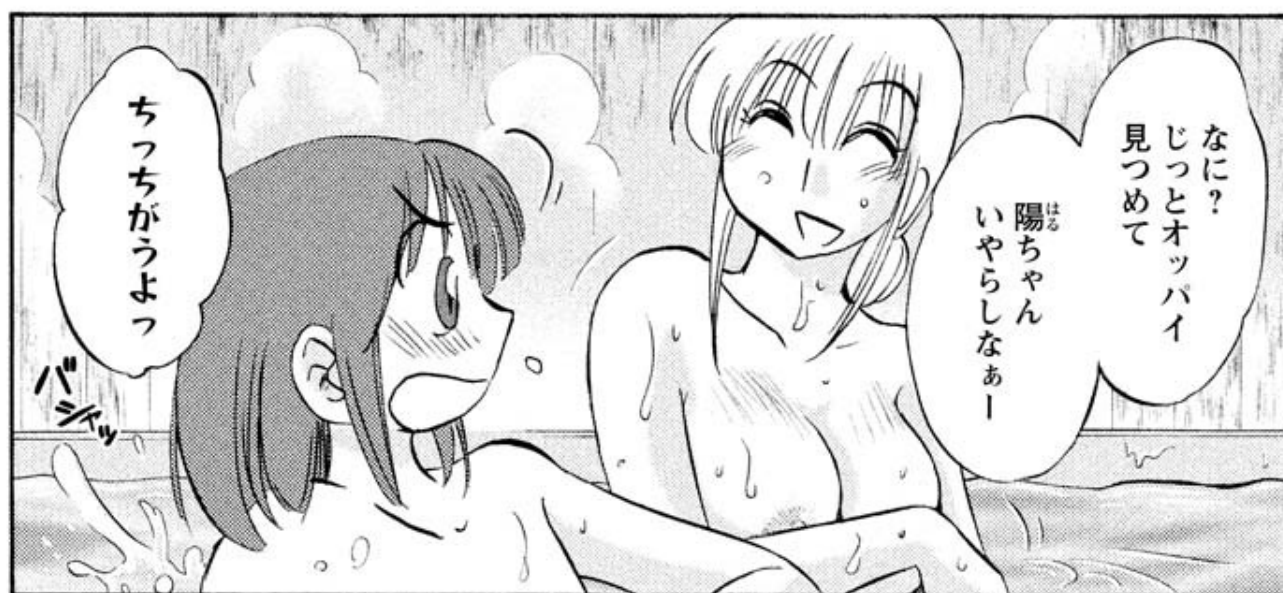
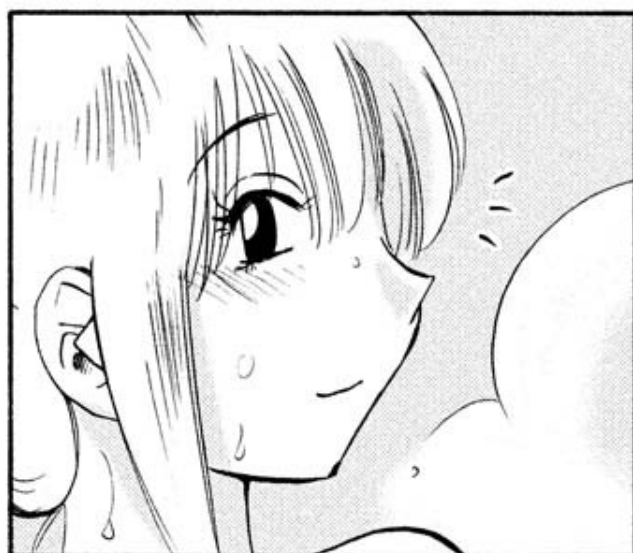
はい
奥さん

車
まわしてきます



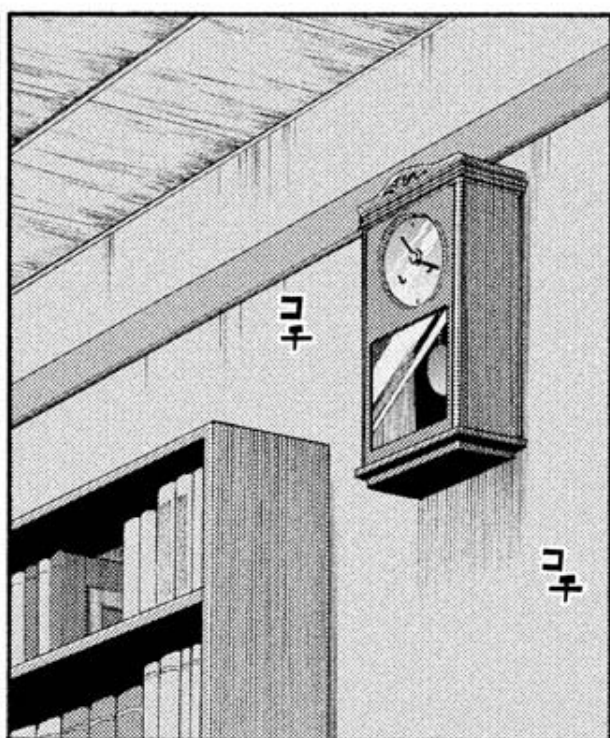












あやめの
言うことが
正しかった





泡姫の
ねーちゃん
みたいすよ





あんっ

ズキョッ

ああ

ズキョッ

タキョッ

あ…あッ

跳ねるような
水音——

あん

すごいッ

あッ

ダンナ
ほっといて…
こんなコト
しかも
昼間だけじゃ
飽き足らずにッ

ズキョッ

ズキョッ

ズキョッ

はっ

こす
擦れ合う
肉の音

ういのあん

へへ
おかみ
悪い女将
さんだなッ

ん







そして
いつも最後は
母の顔を見る



いくつ

あ

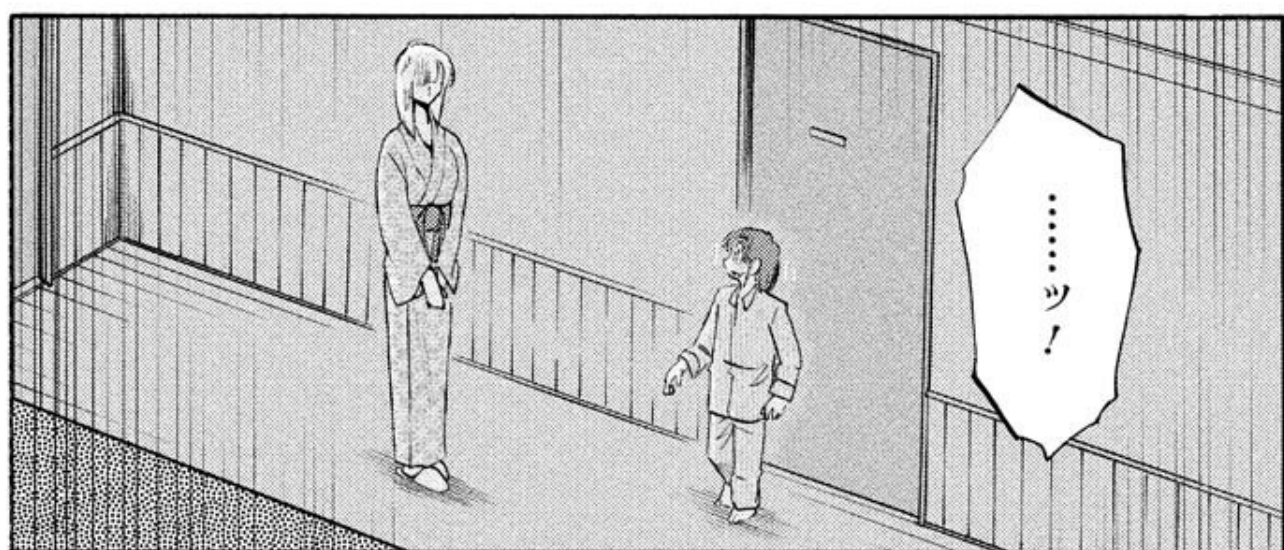
ああ…

見たあとは
いつもおしっこが
したくなった



この時にしか
見られない

「おかあさん」の顔…





◆連載開始前のラフ案等。

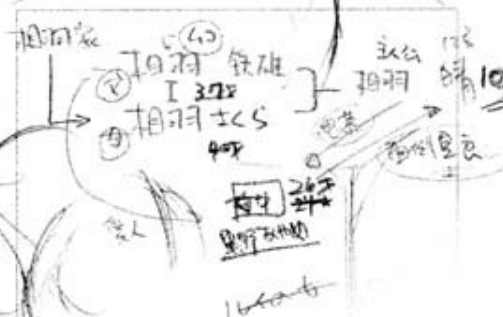
陽とあやめのこういうシーンは入れたいな、とか思って描いてあった。



お母さんのムッチリ感
どれくらいかとか。



陽くんは最初これくらいの
長さの髪の毛のつもりでした。



従業員設定も
簡単にだけ一応。
結局ほとんど出て
こなかったという...



従業員は
お母さんこの3人

ひるがお

Presented by
TSUYATSUYA



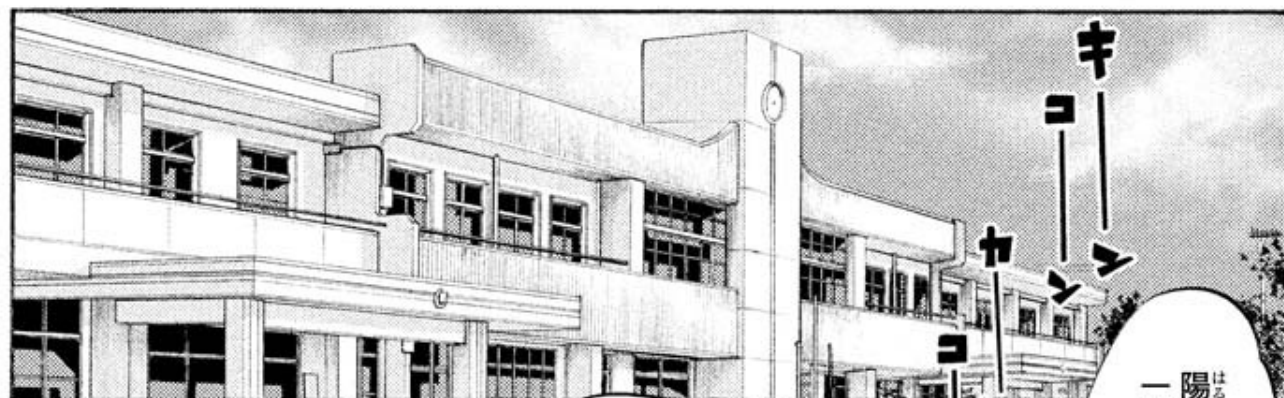
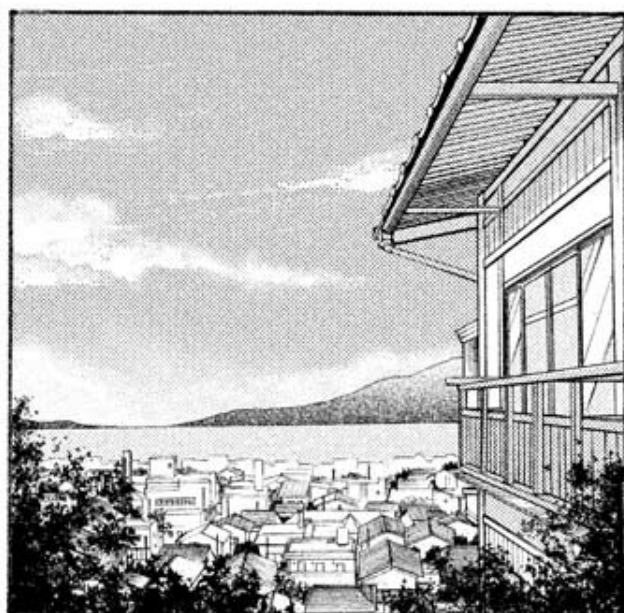
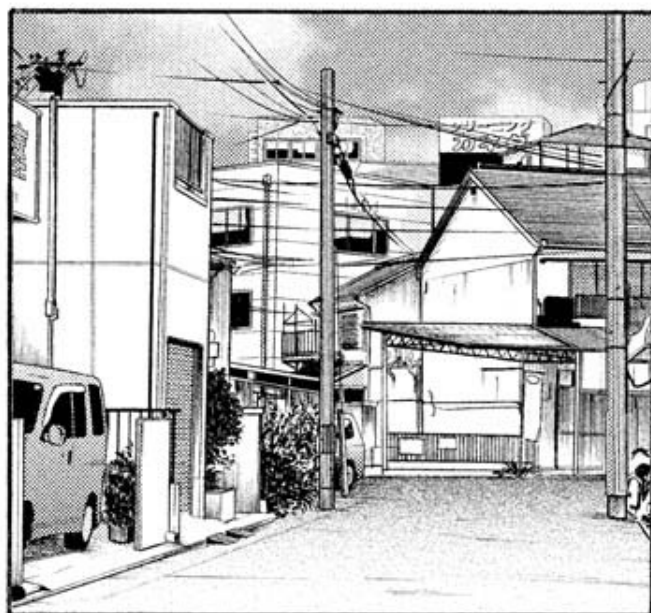
第2話 貌 かお











ねーねー
今日浜で
三角ベースしよーよ

うん！

はる
陽くーん
一緒に帰ろー

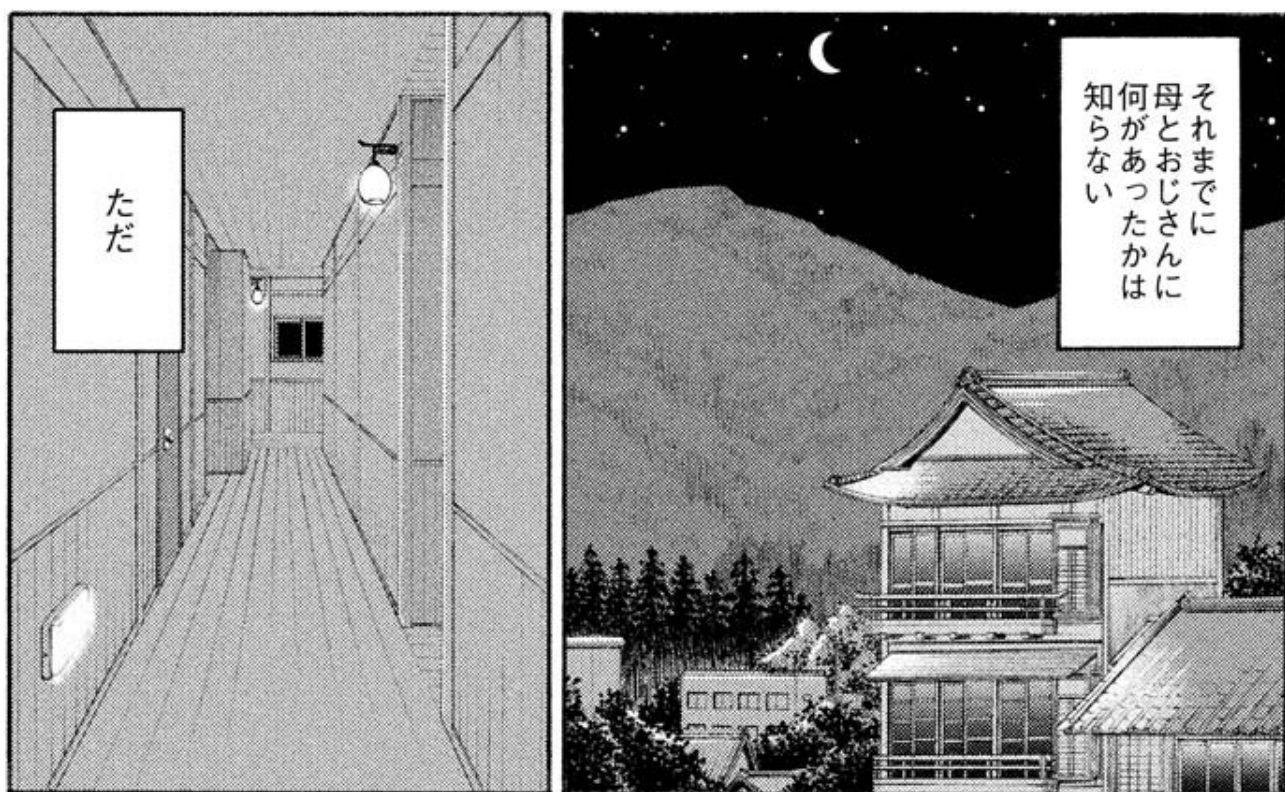
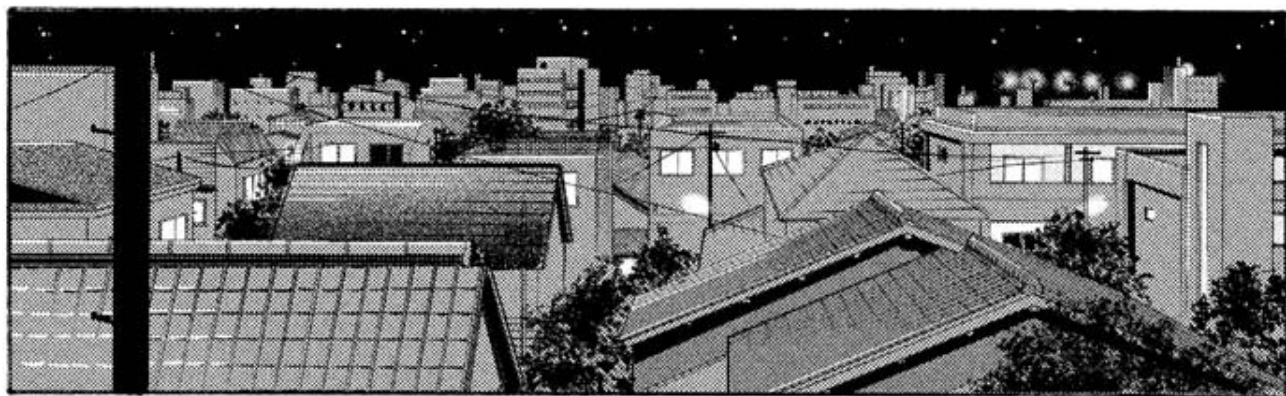


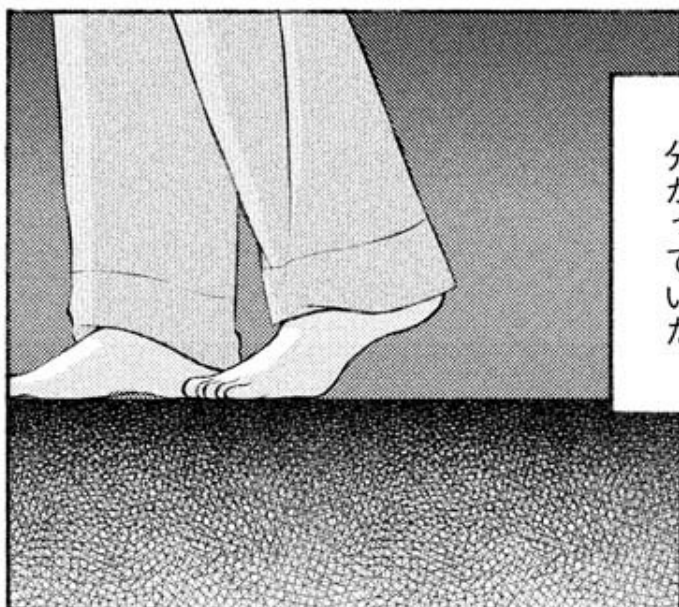




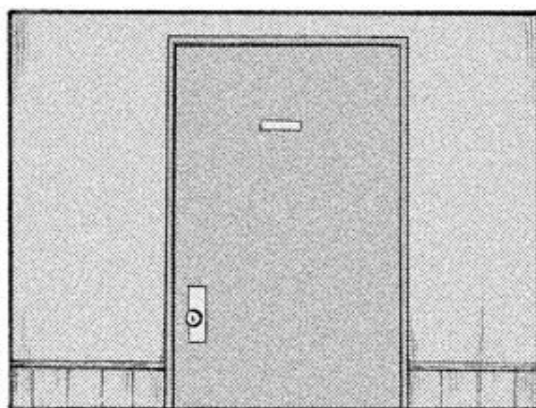








ボクにはもう
分かっていた



あ

クチャッ

クチャッ

クチャッ

クチャッ

クチャッ

ああ

クチャッ

は

クチャッ







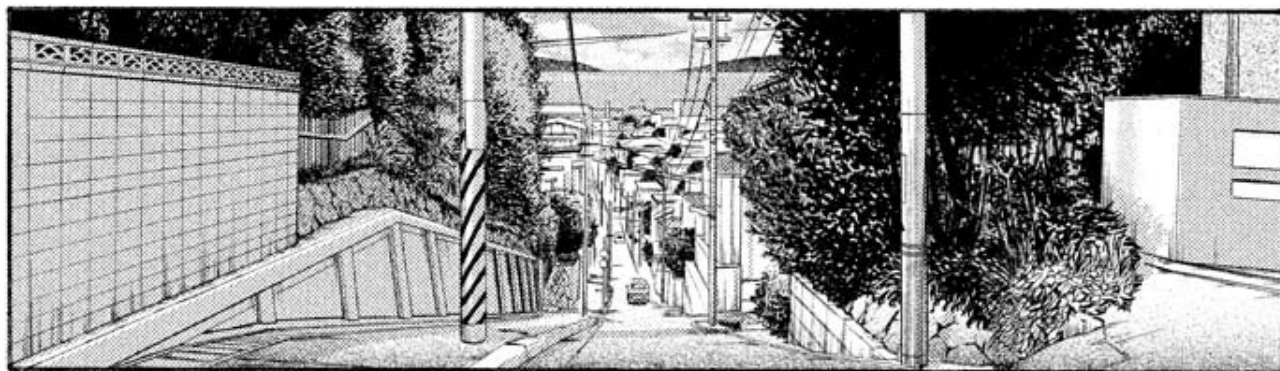




またこの前と
違う力才だった



全てが終わった後の
母さんは



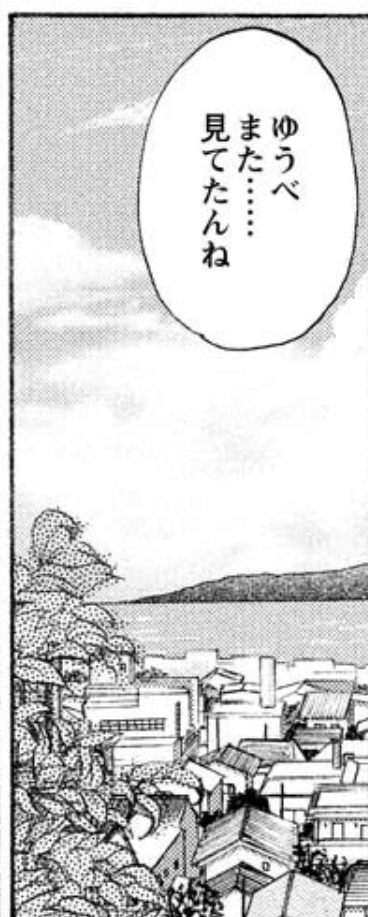
—ねえ…
あやめ…



おかしくなクセ
…つけてしまっ
ましたなあ

おほよう

—あやめ…



ゆうべ
また…
見てたんね



第3話 閨 ねや









ア・レをした
次の日はいつも
機嫌が良かった

だからきつと――



マチコちゃんの
両親に必要なのは

ふーん……
なんか
わかんない
けど

じゃあ
試してみよう
かなー

うん一週間
くらいねー

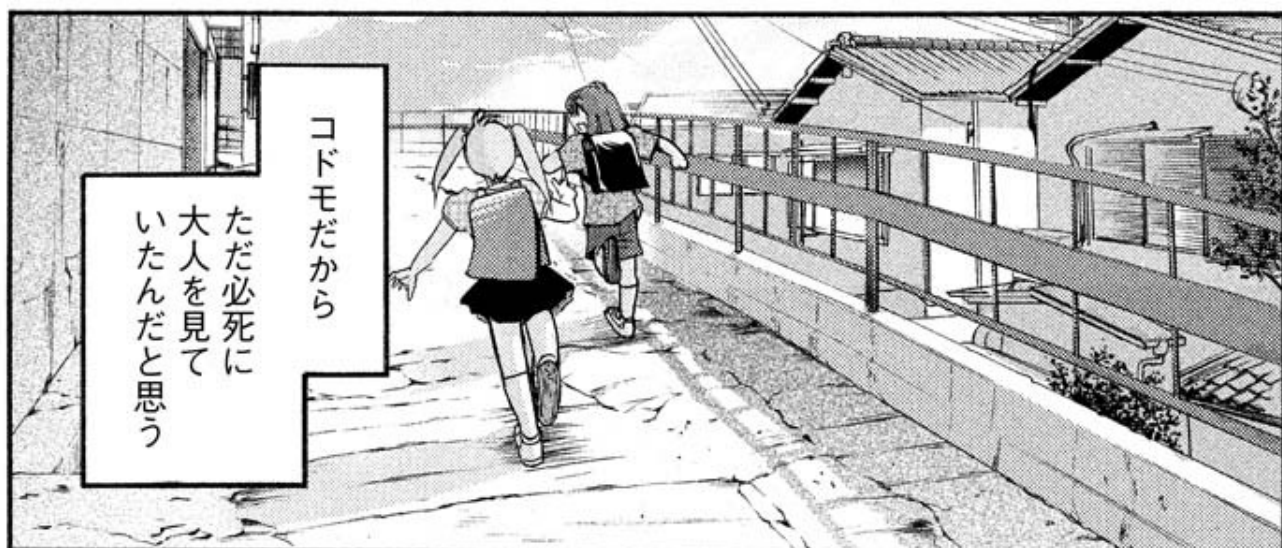
その機会
なんだろうと
思ったんだ……



でもすごいねー
陽くん時々
そーゆーコト言うね

オトナだねー

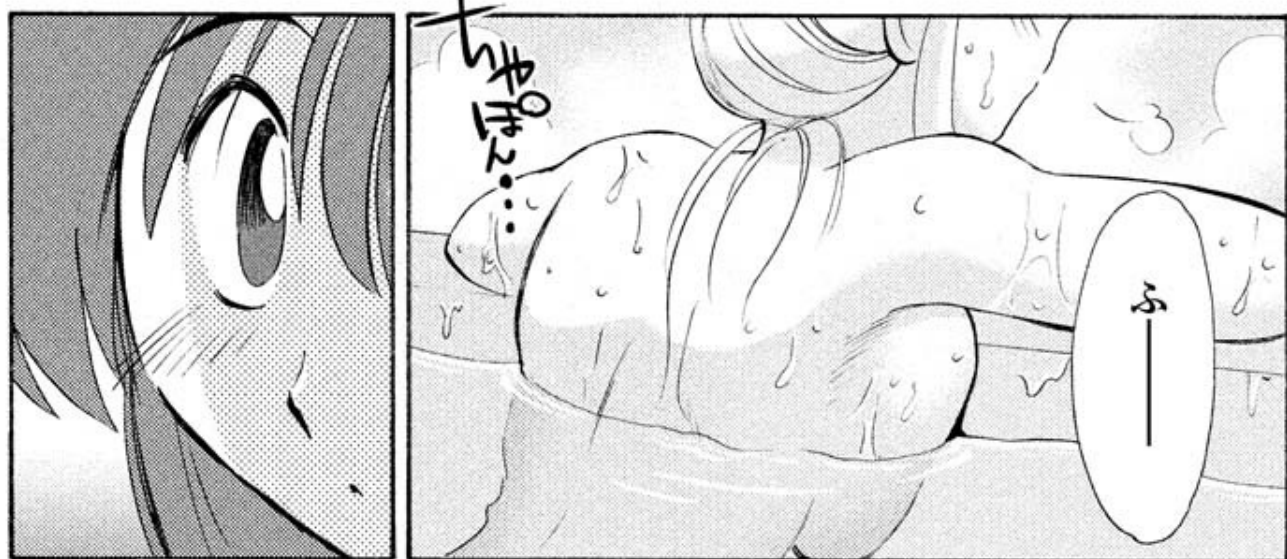
そんなこと
ないよ







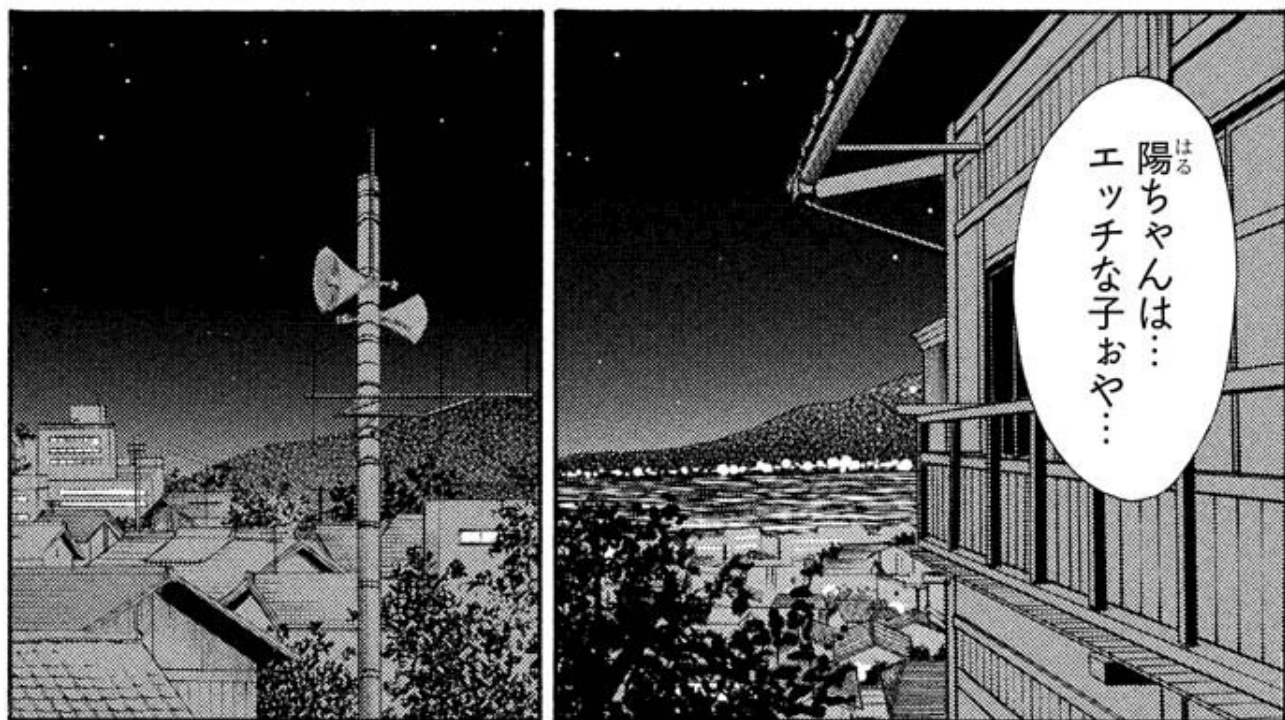










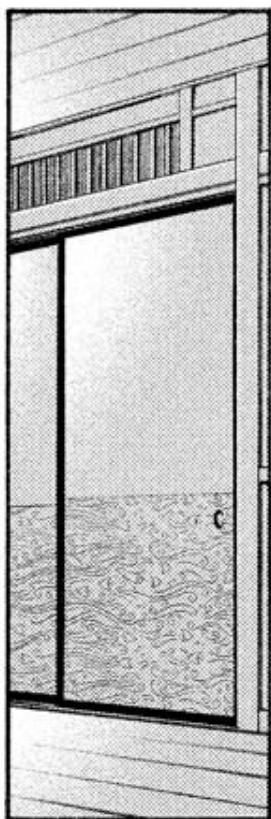




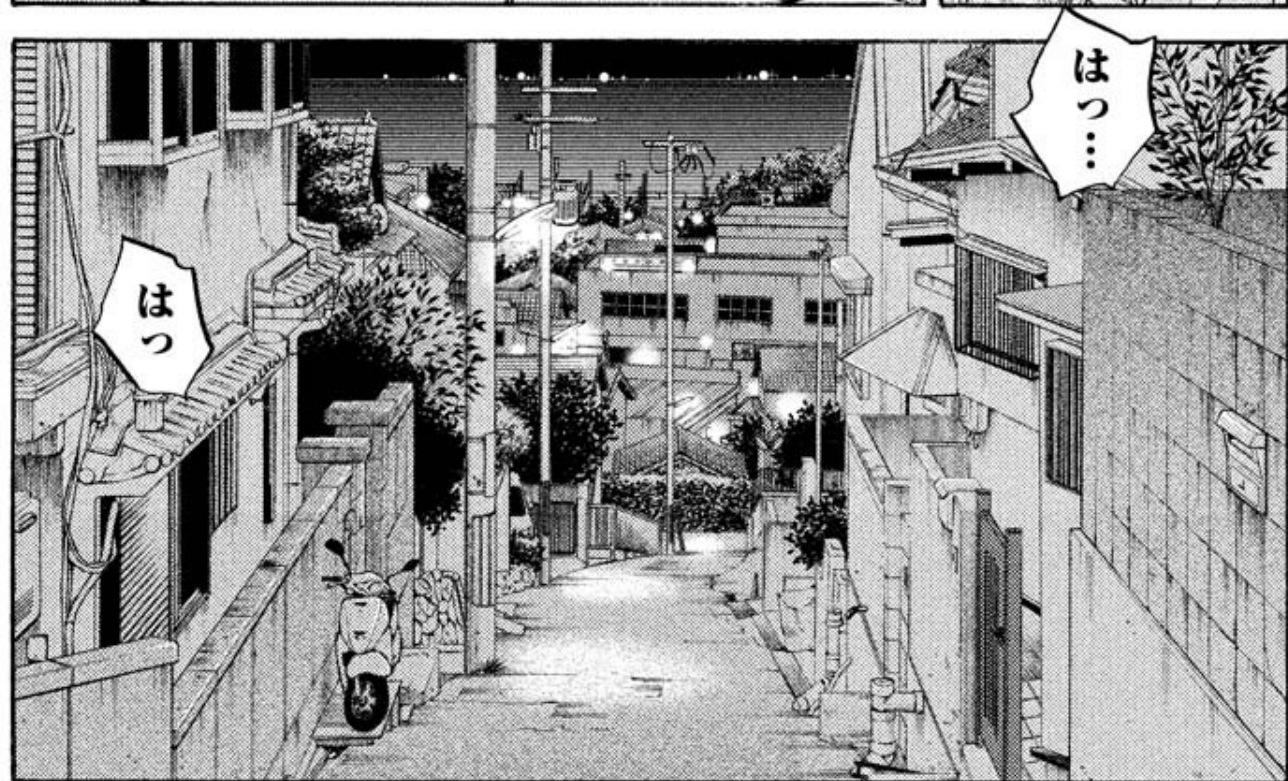
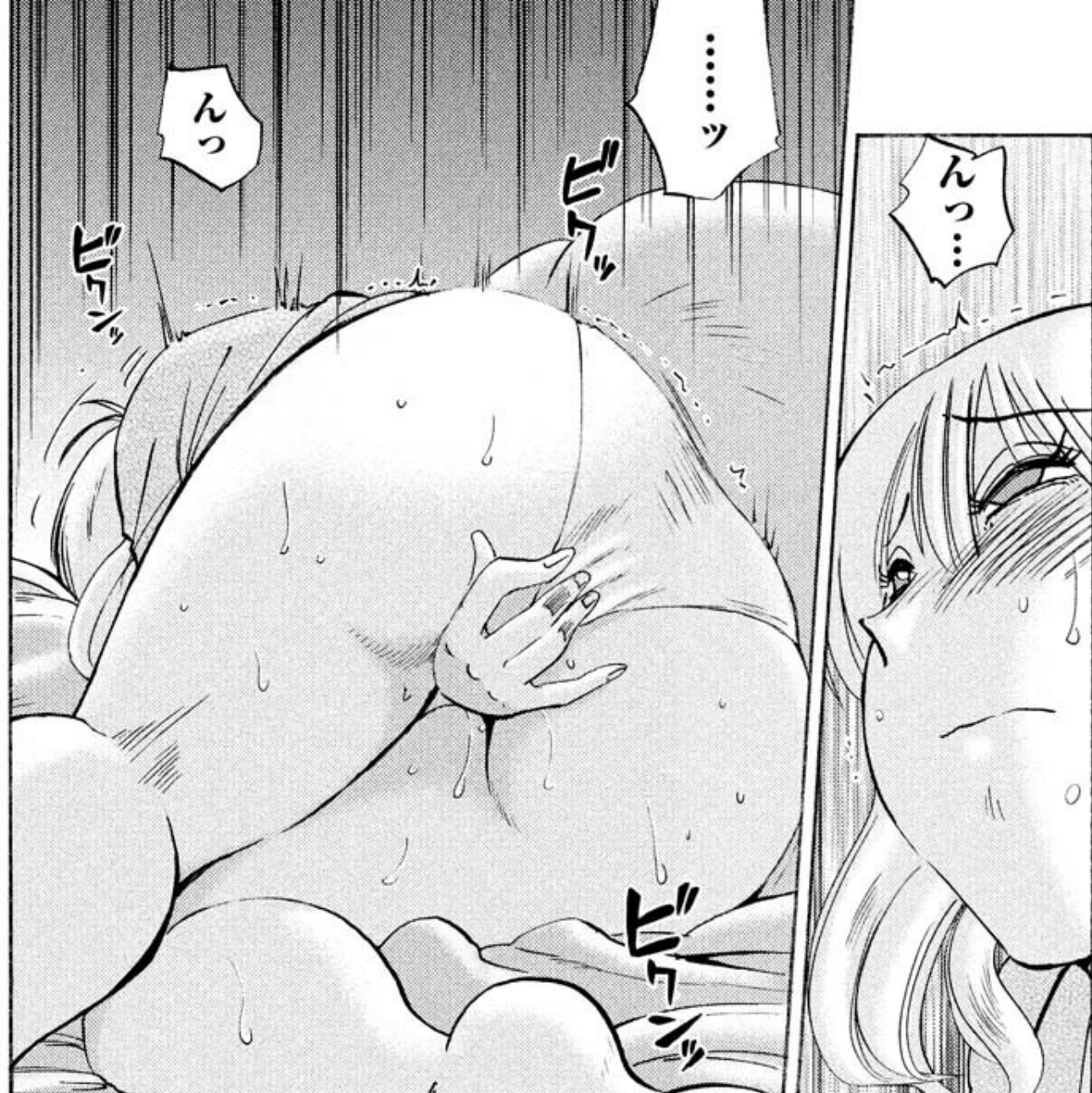












第3話◎END

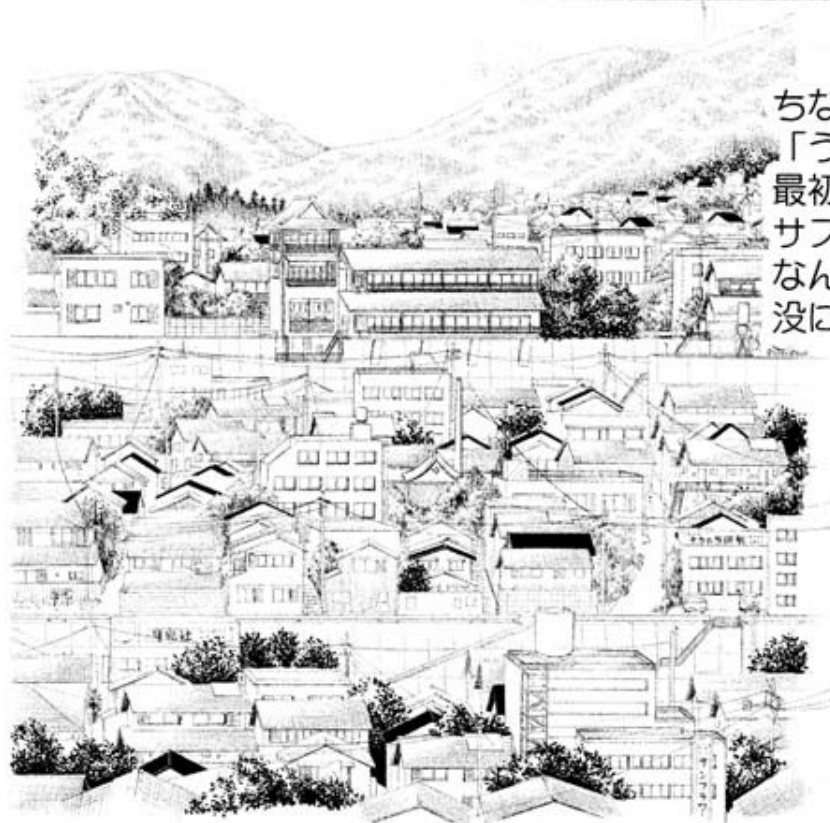
◆町のイメージなど。

ネームの1枚目に描いた
なんとなくの旅館と町のイメージ。
海から山へとせり上がっていく町と
その上の高台にある陽の住む旅館。
そんなかんじでした。

うたかたの柔肌



それを見てアシ子たちが描いて
くれたのが下。だいたいイメージ
通りになりました。
この町を描く上で参考にしてるのは、
神戸の西にある塩屋駅付近や
垂水駅の上のほう、あとは三重県の
神島の家並みです。ごちゃまぜですね。



ちなみにラフの左上に書いてある
「うたかたの柔肌」というのは
最初に出したタイトル案。
サブタイトルにでも使おうかな、
なんて思ってたんですが結局は
没にしました。

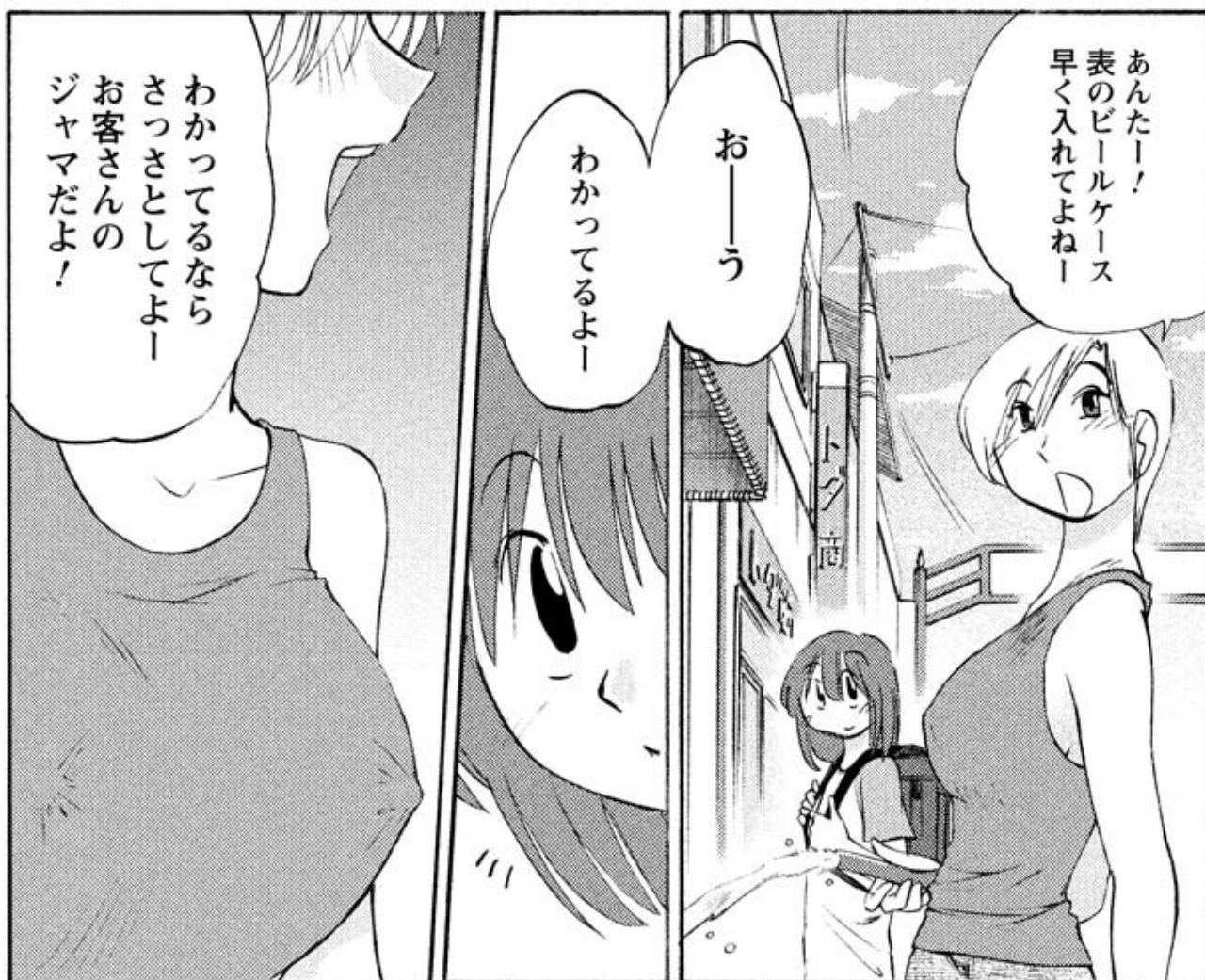
ひるがお

Presented by
TSUYATSUYA



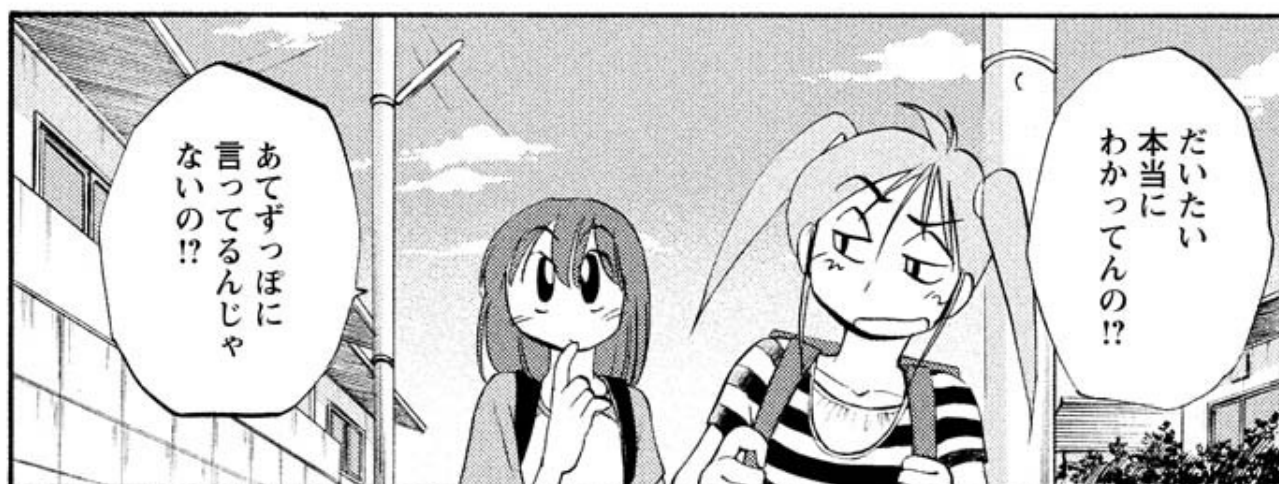
第4話 性さが

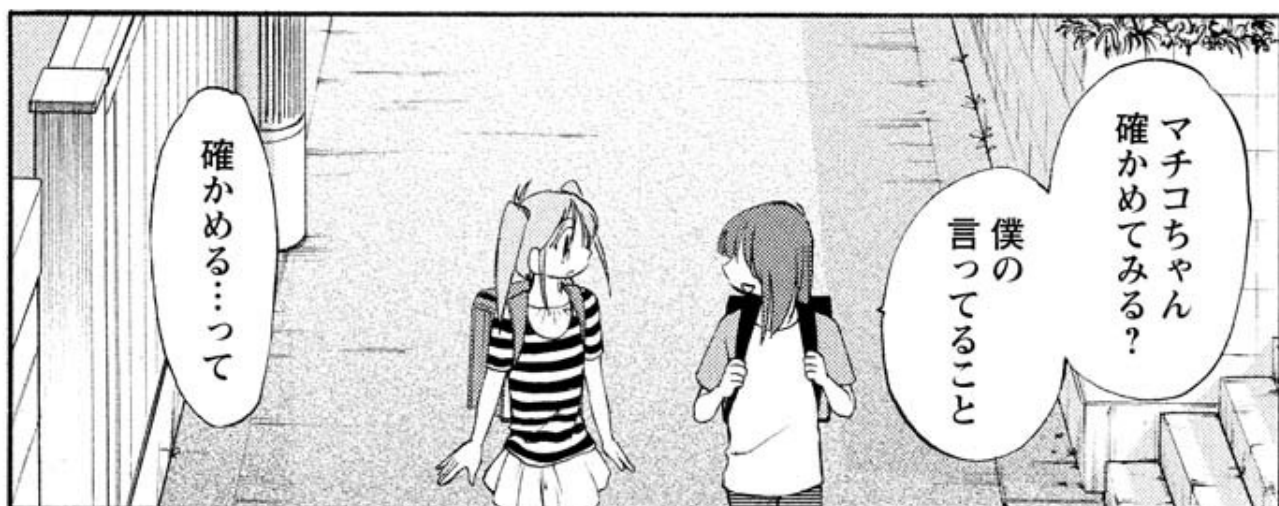


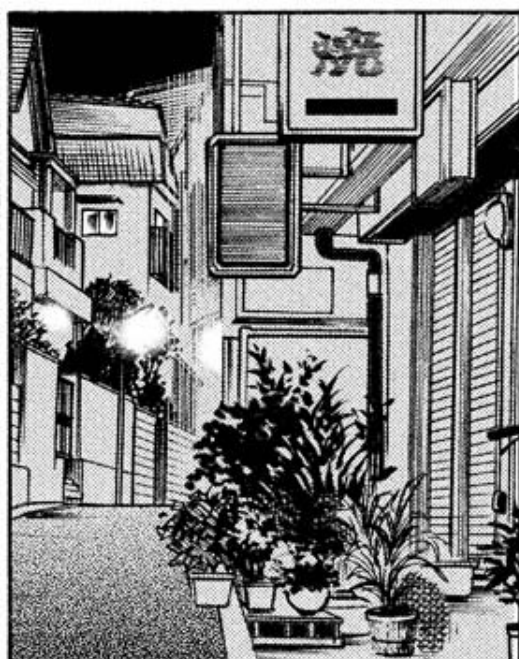


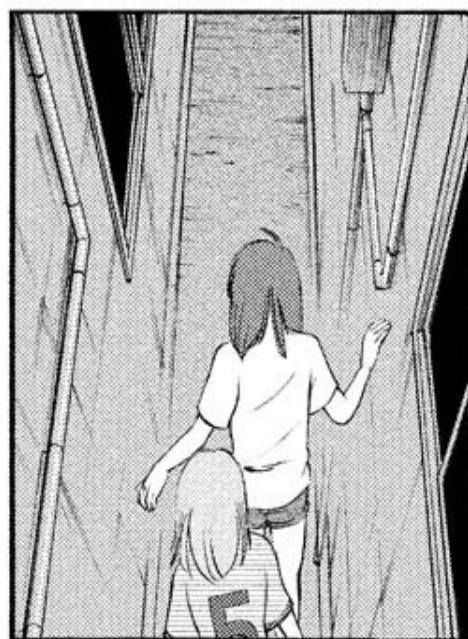


















スケベだなあ

かん—?
かなこ
加奈子っ

はっ

ちがっ... あんッ

ほら
もつとケツ
振ってみろ!

あはっ

グチャッ

は

だつてエ...

あッ

グチャッ

すげえな
まる見えだぜ

グチャッ

加奈子のマンコに
オレのチンポが
よお

スケベなこの
でかいケツ!

ああッ...

グチャッ

グチャッ

グチャッ

あッ

グチャッ

グチャッ

ん

あつと...
名前呼んで...

グチャッ

あはんっ

グチャッ

オバちゃんも
……あんなに
変わるんだ…

やあ
イクッ

あっあっ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

よしっオレも…っ
出すぞっ

いつちやうッ

グ
グ
グ

はる
陽くん…?

!?

ああ…ッ

あッ

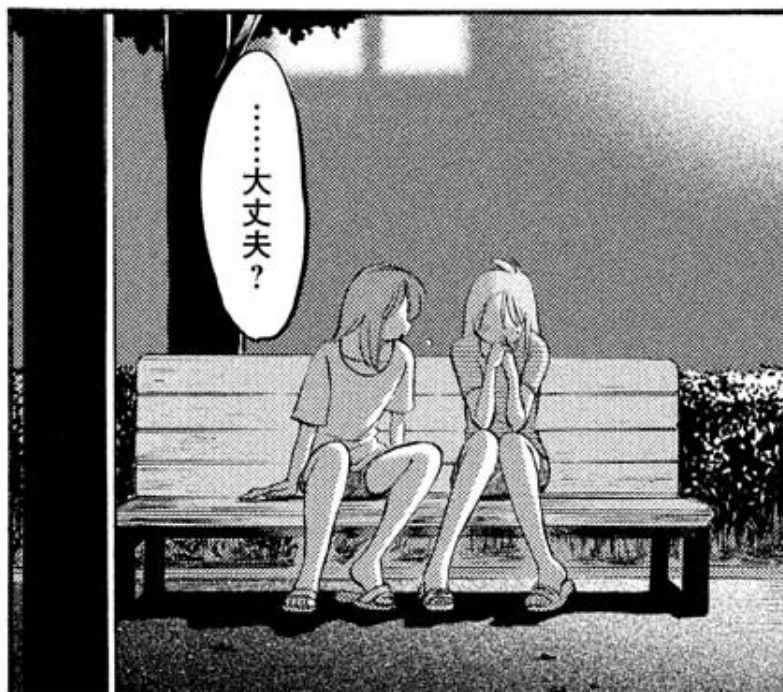
んっ

はッ

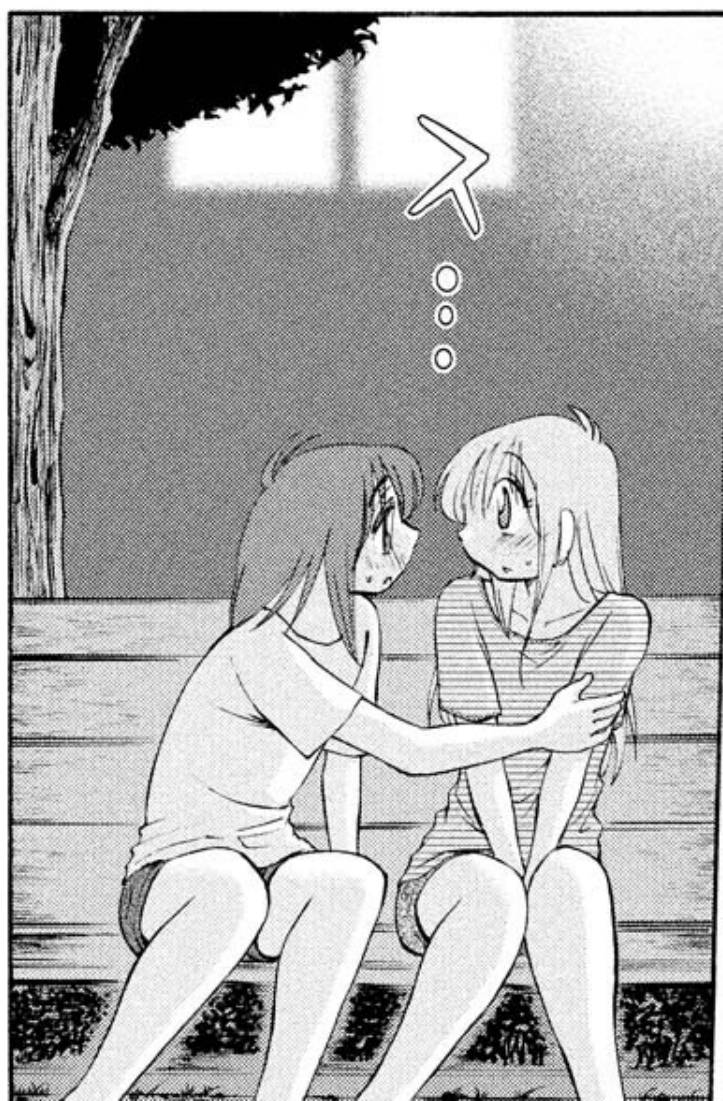
ああんッ…

あッ

は

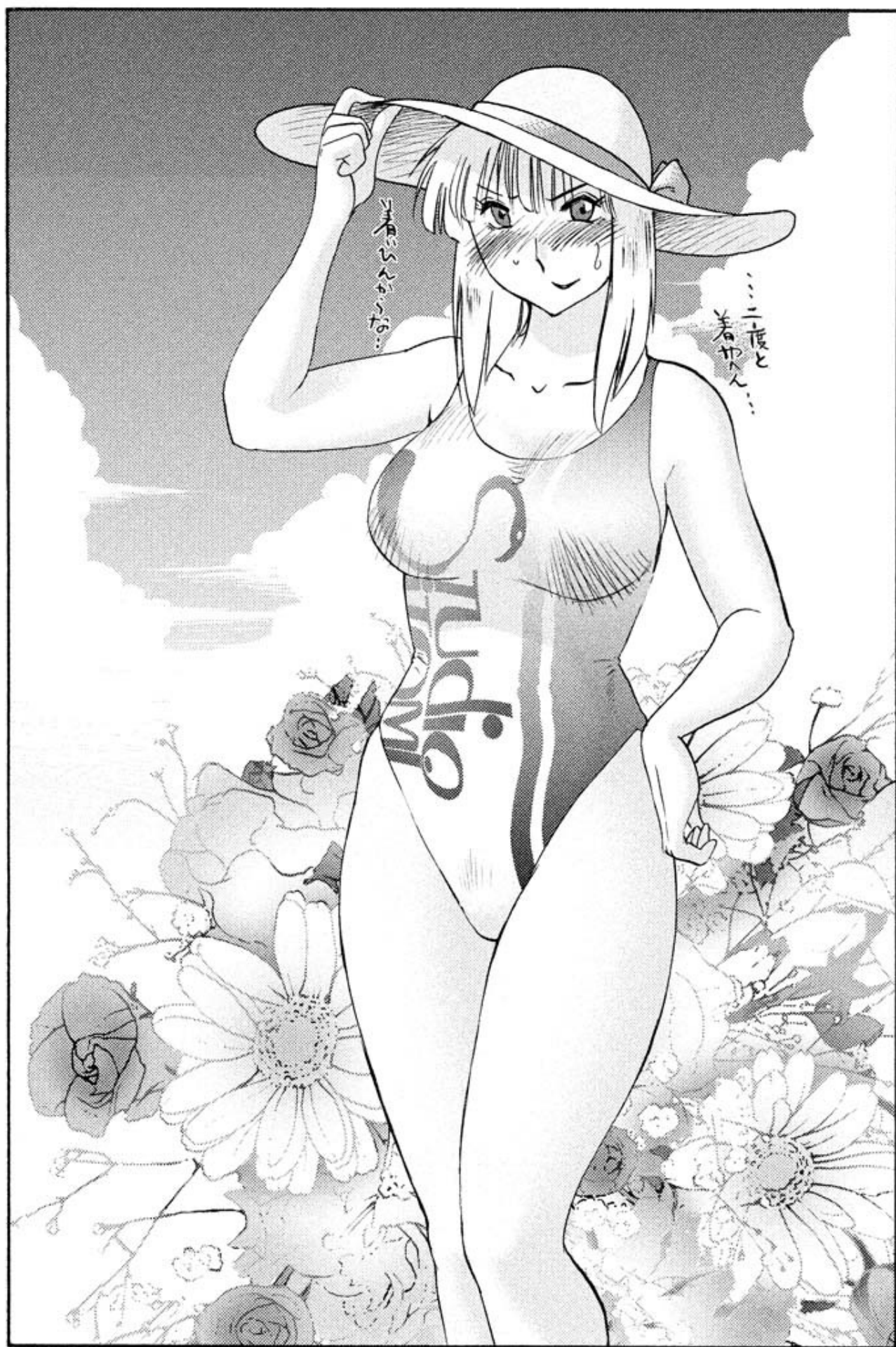


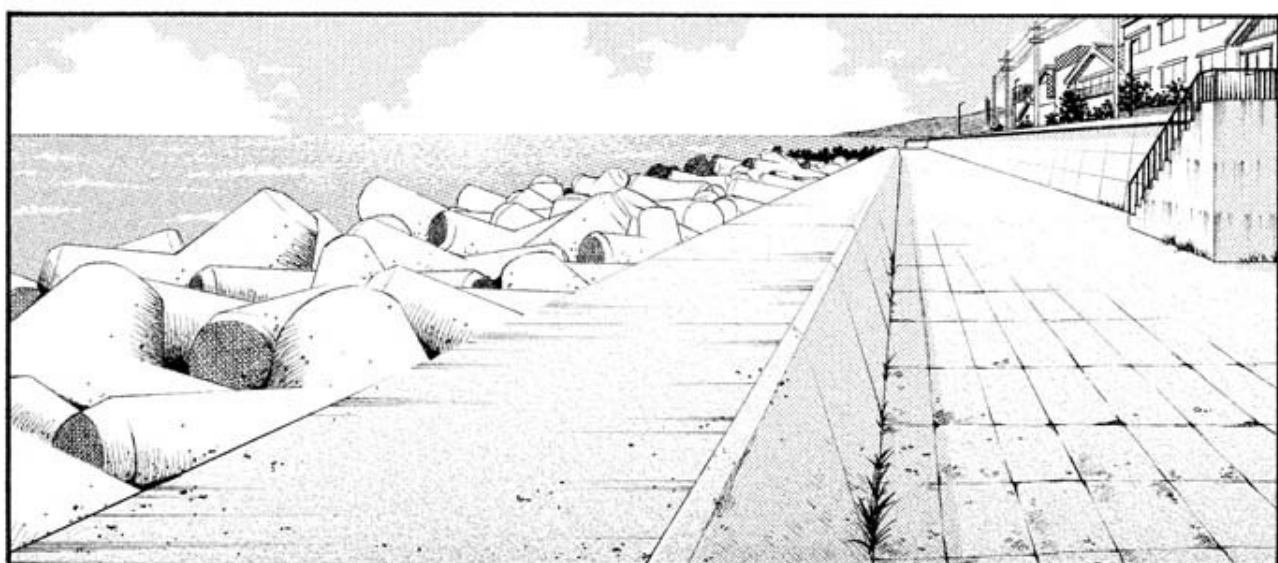
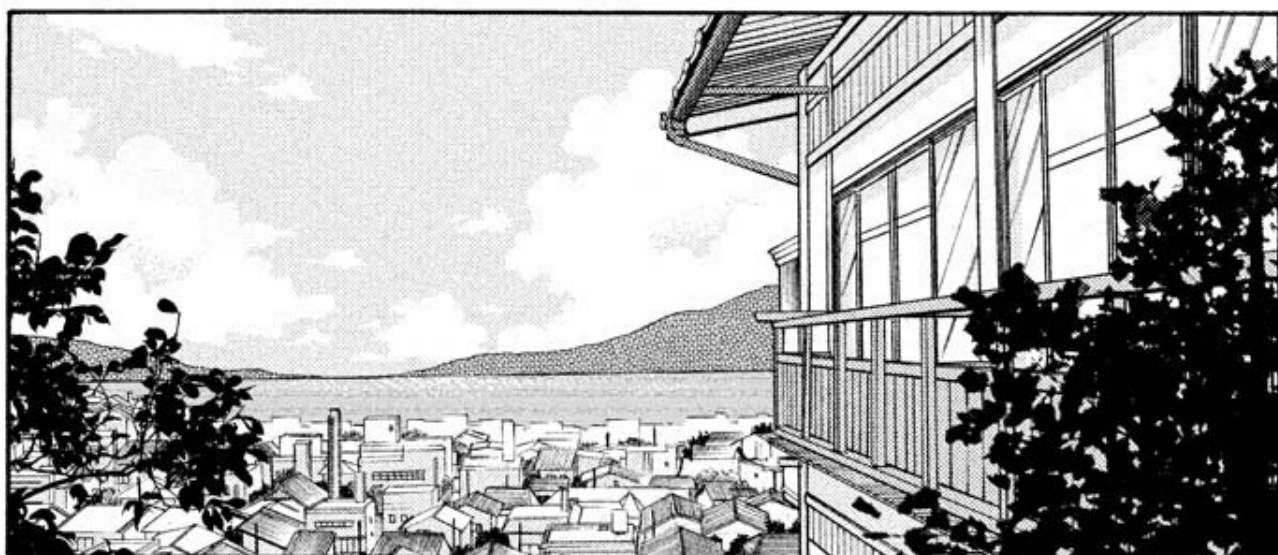






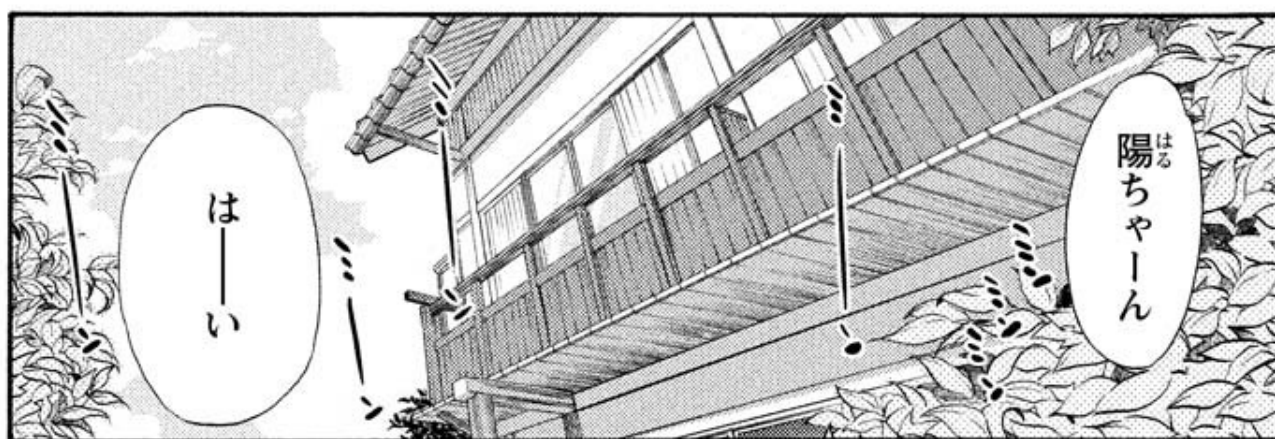


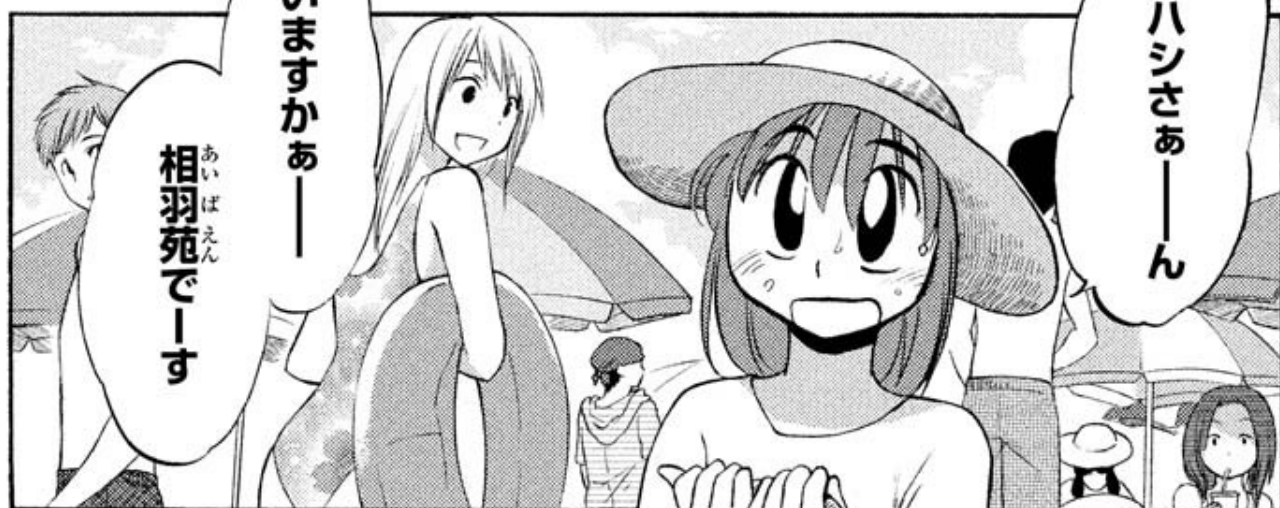
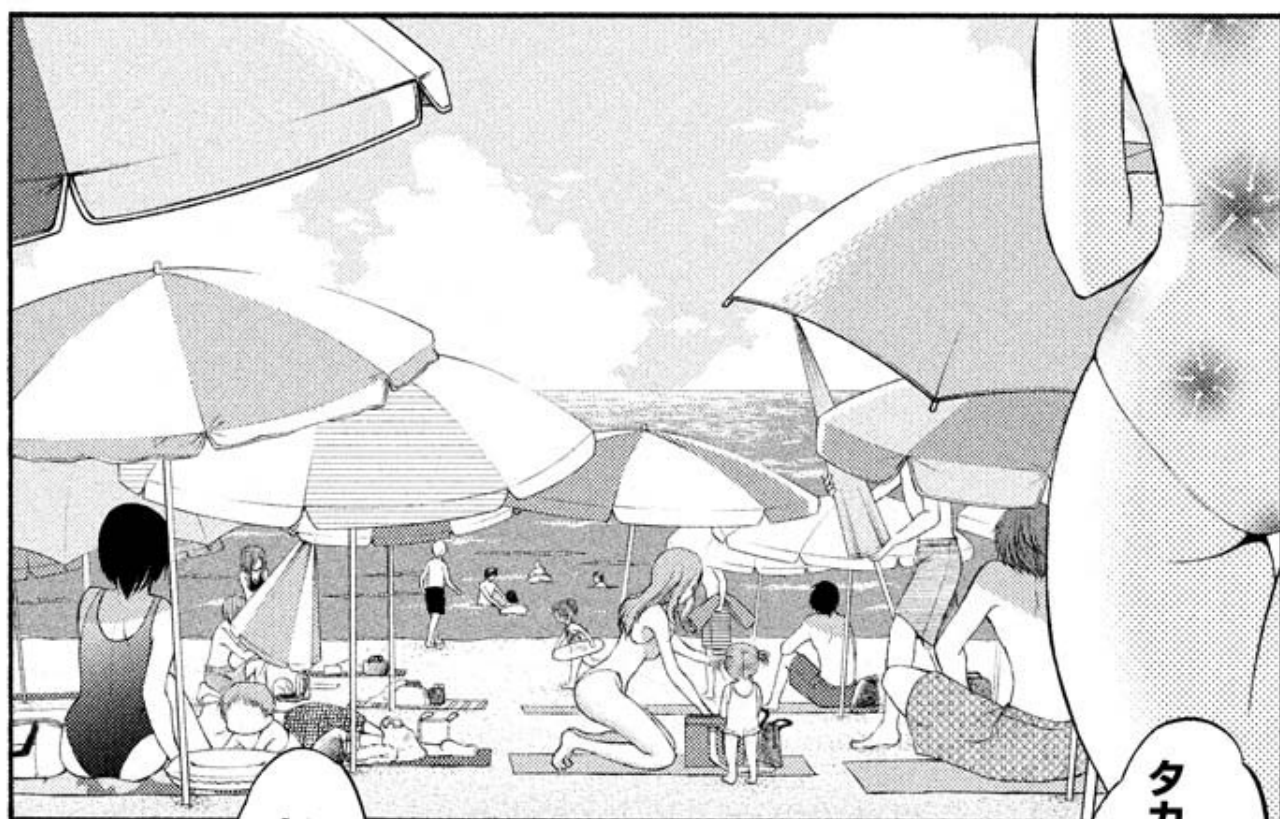




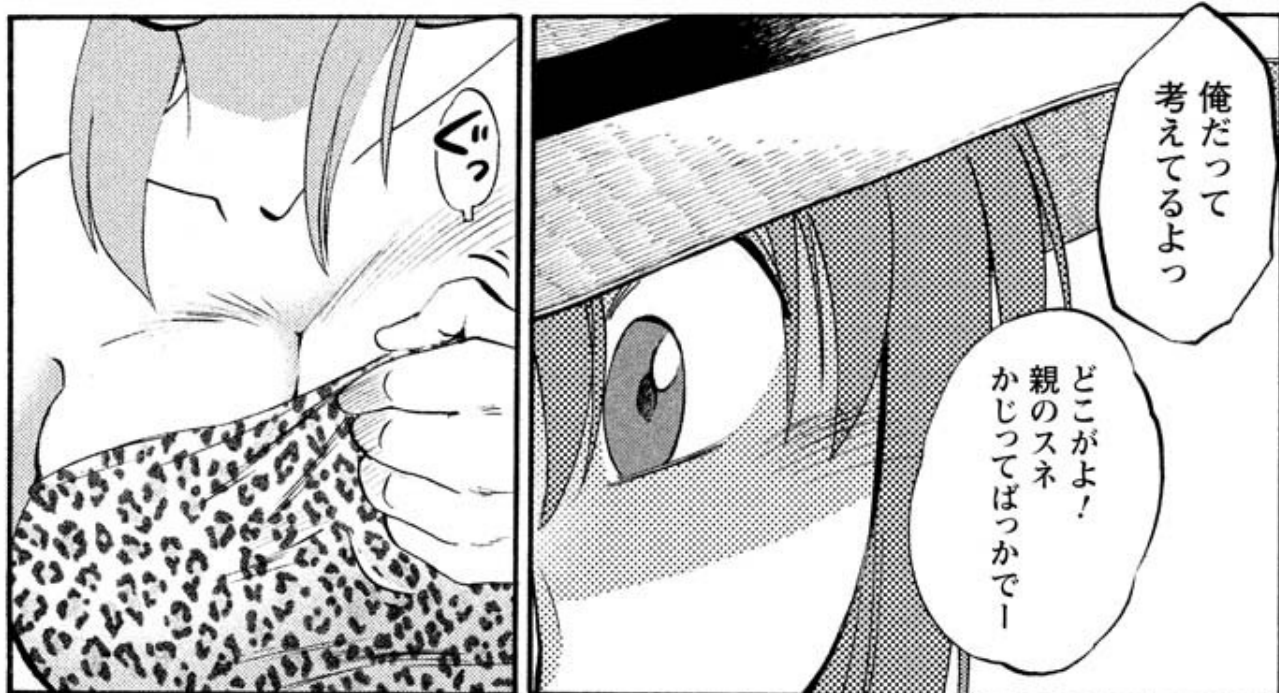


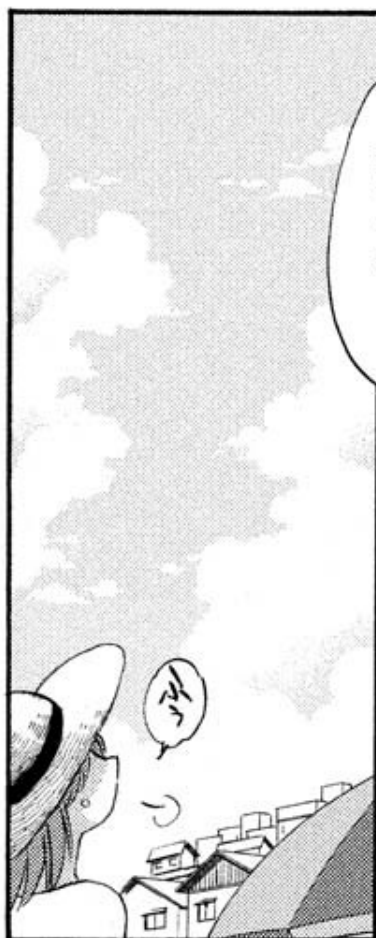


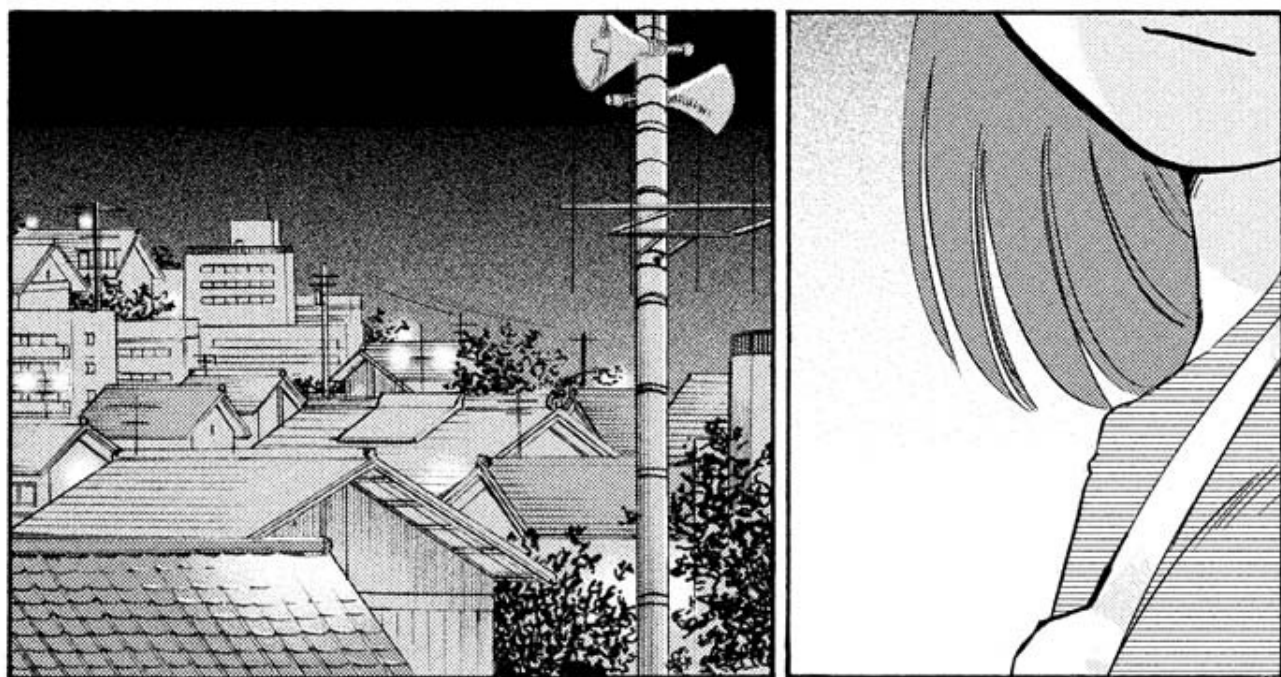


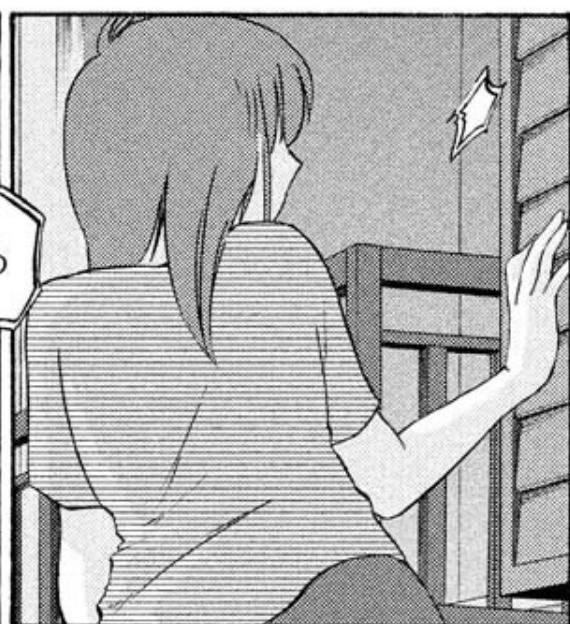
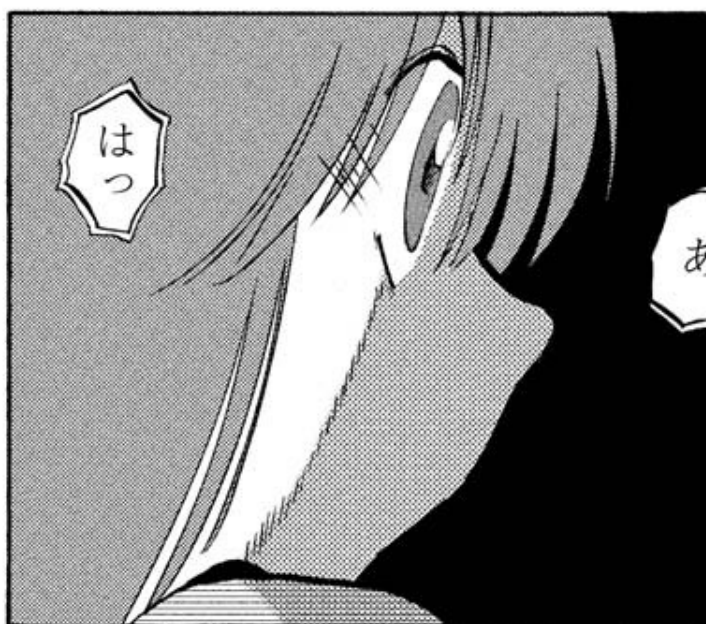
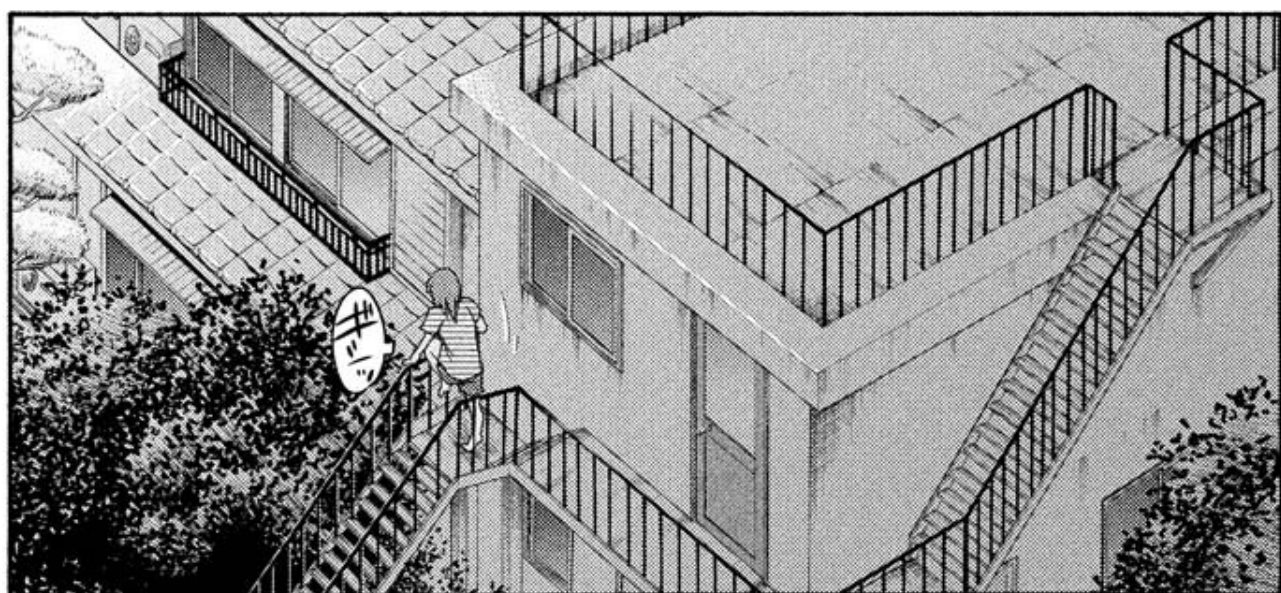
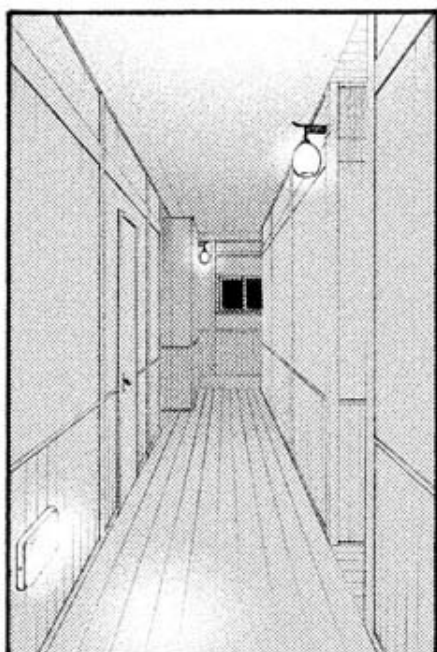
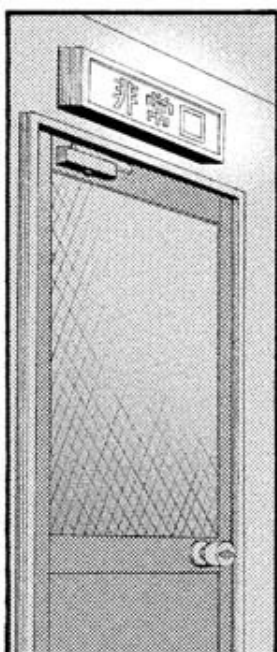
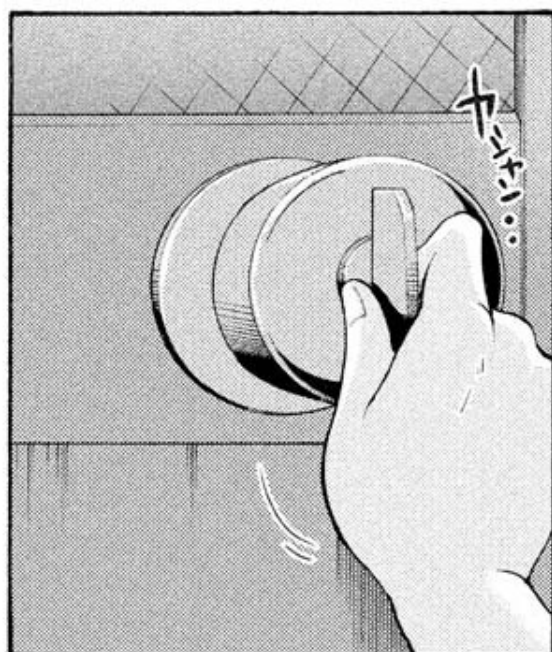


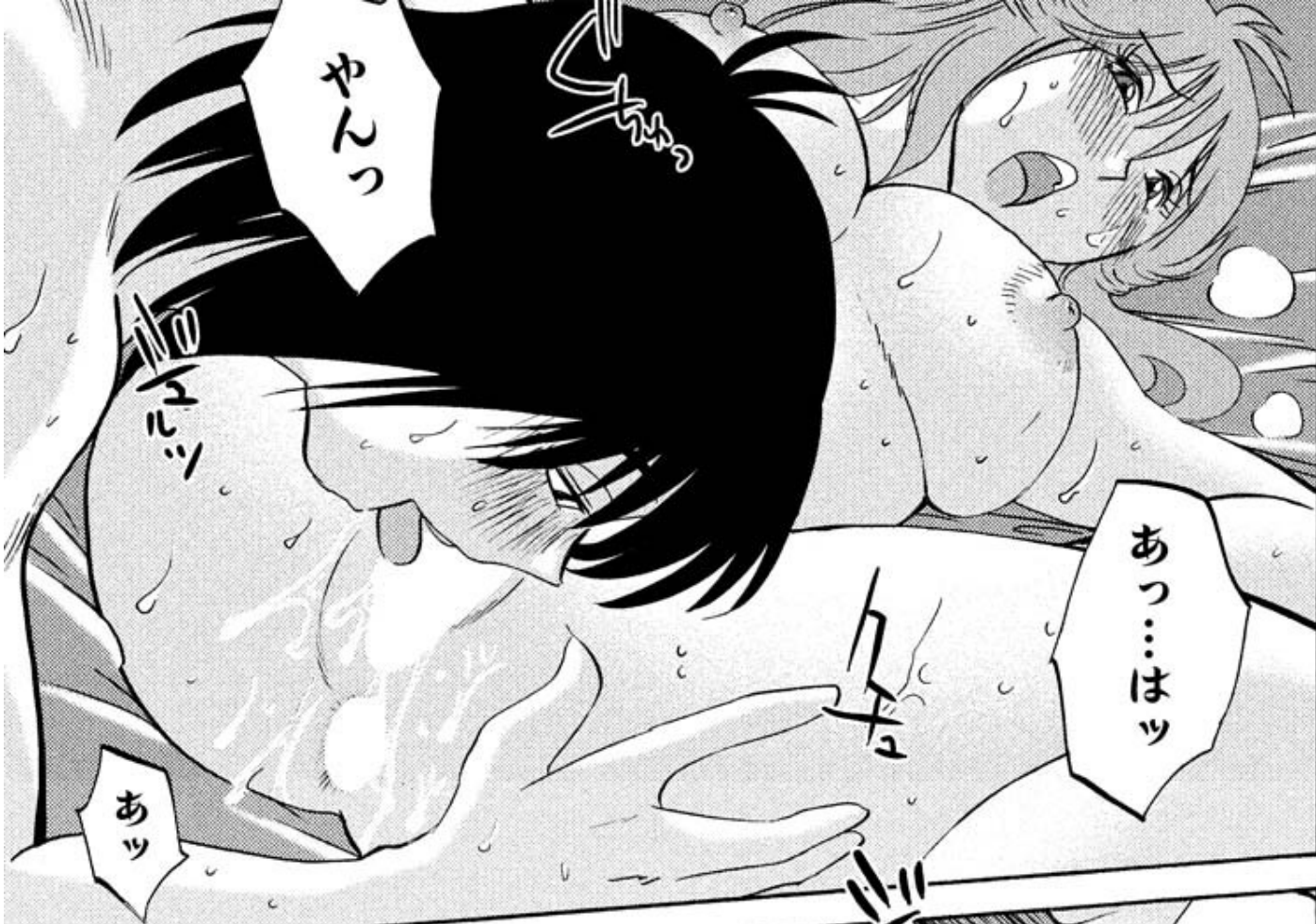












あ……ッ

んっ…

ははっ
お前 日焼け跡が

なんか
エロいなッ

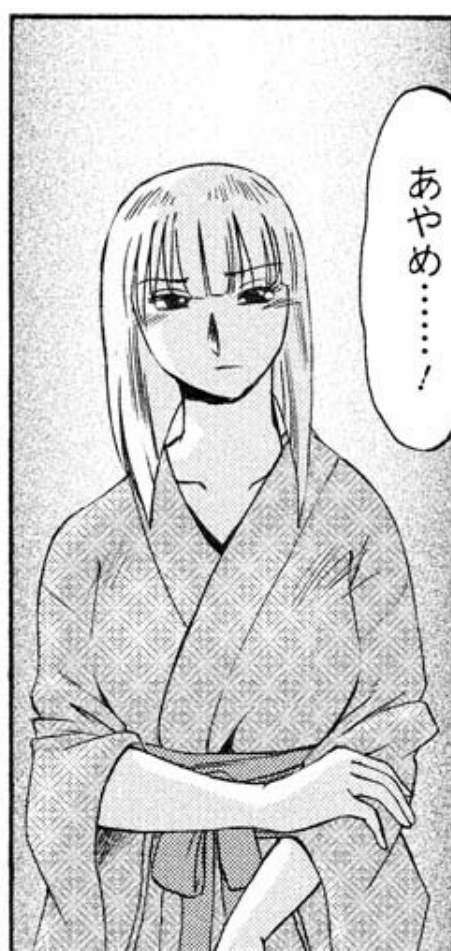
あ

んっ

やんッ

すごいッ
奥…当たるッ

アハハハ







◆表紙絵のラフ。

こんなかんじでネーム用紙に書いてあったらくがき。

でも表紙案がまとまらず。
それに話の性質上あやめなんかの
水着は出そうにないので描いてみました。

この漫画の1巻の時代背景は
80年代。その頃の水着は
こんなワンピースのハイレグでした。

その時代を知らないアシの子たちに
話すと完全にネタだと思われるのが
悔しい……。

「あんなハイレグ普通の人が
着るわけないじゃないですか～」

着てたんだよ！



ひるがお

Presented by
TSUYATSUYA



第6話 映うつし



はる
陽ちゃん

お父さん
お帰りに
なったでー！



ザッ

はる
陽！

お父さん！！



元気そうだな
—！
でかくなったか？

なったよ！
お父さん
ヒゲはえた！

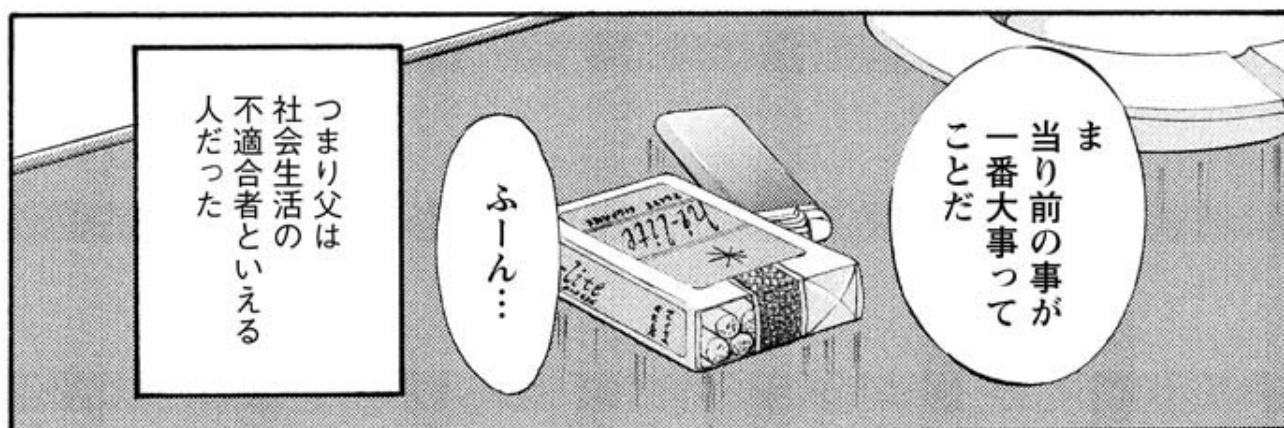
はえた
はえた—
ハハハ



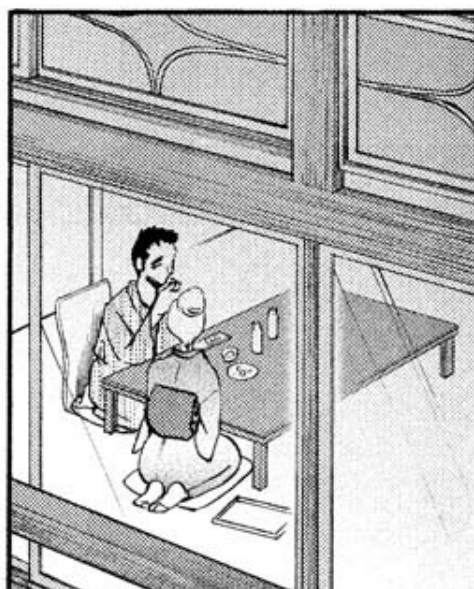












ねー
お父さん

んー？

どうして
みんなと一緒に
ご飯
食べないの？

食べてるだろー
朝も昼も

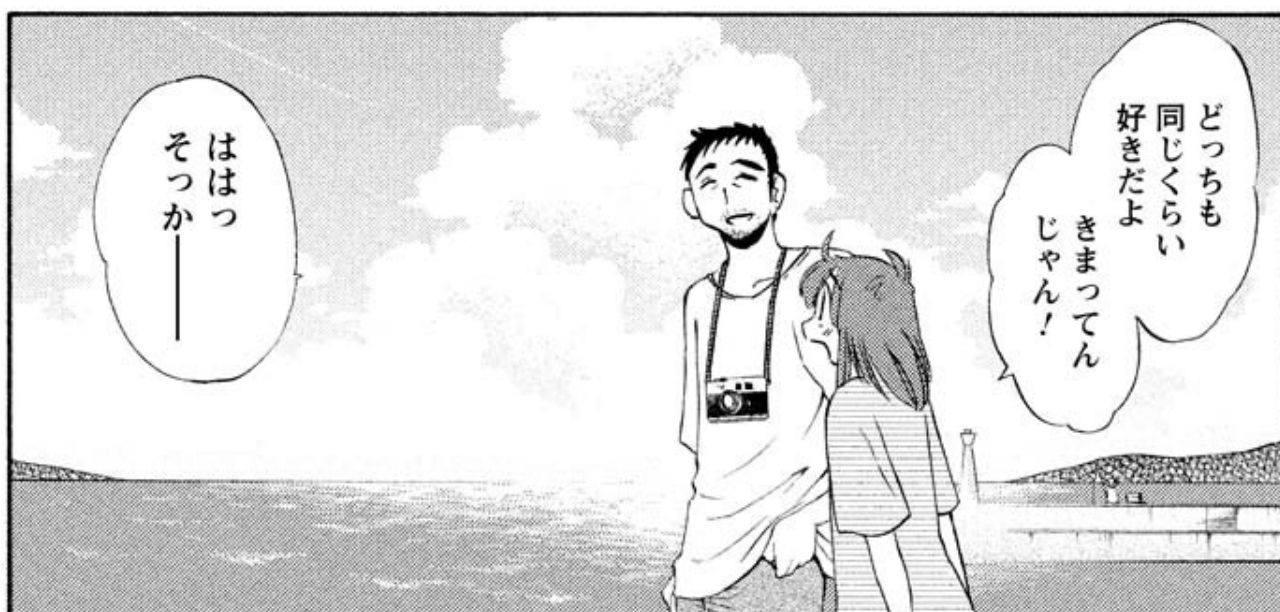
夜だよ！

んー
お酒飲んで
ゆっくり静かに
食べたいんだよ

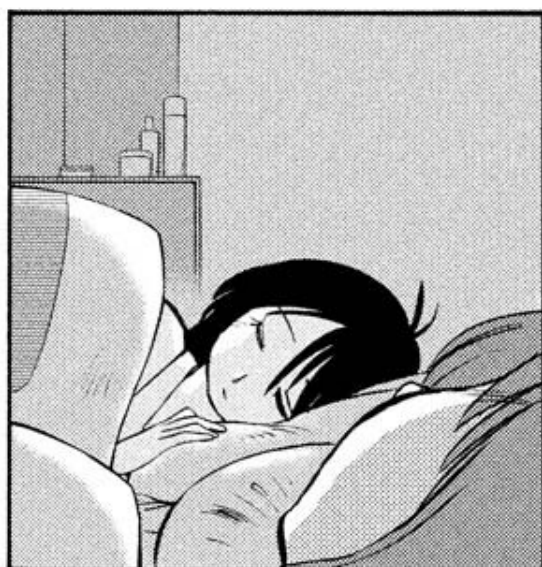
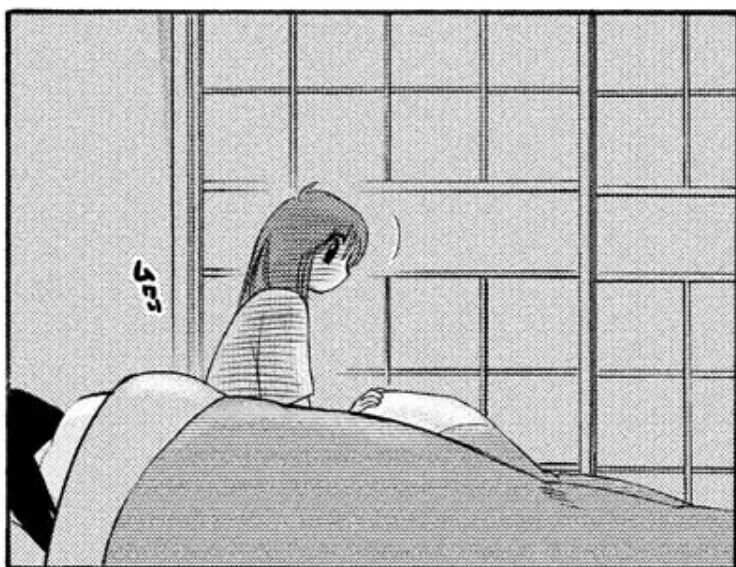
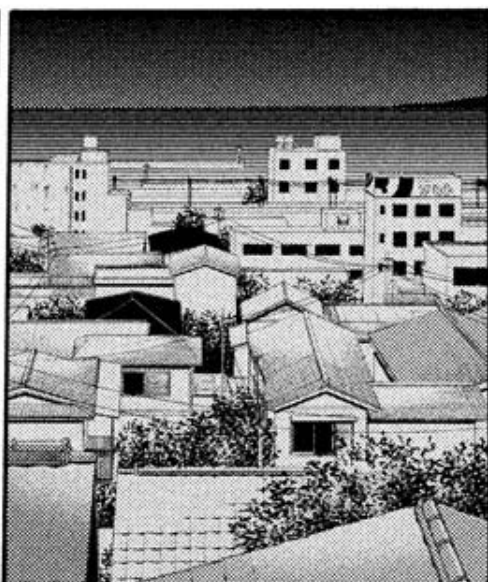
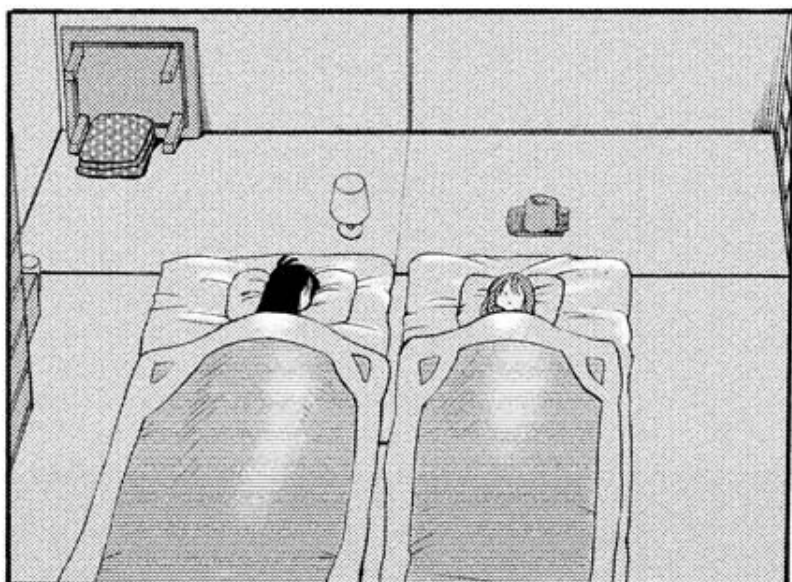
あやめも
ー？

あーなんだ
不満はそれかあー



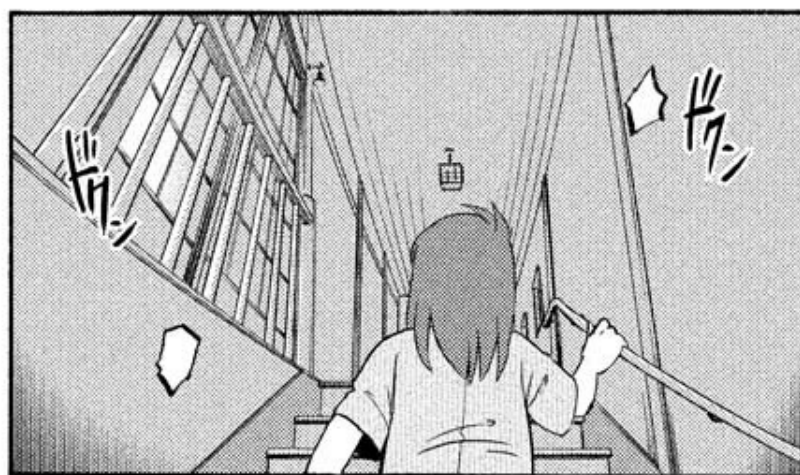






あやめは今日も
お父さんの部屋に
行ったきりだった…





ふあッ…

あはッ…

チュッ…

ワチュッ

そうか…
あやめはまだ
恋人もいないのか…

チュッ…

いるわけ
んっ…あッ

モロッ

あら
しません…ッ

ん…

チュッ…

あふ







今まで
さんざん見てきて

……ッ

あ……ッ!!

知っていたはず
なのに……

ひあッ

青春
さん……ッ♡

グッ

でも

あやめ……が
こんな声……

はッ

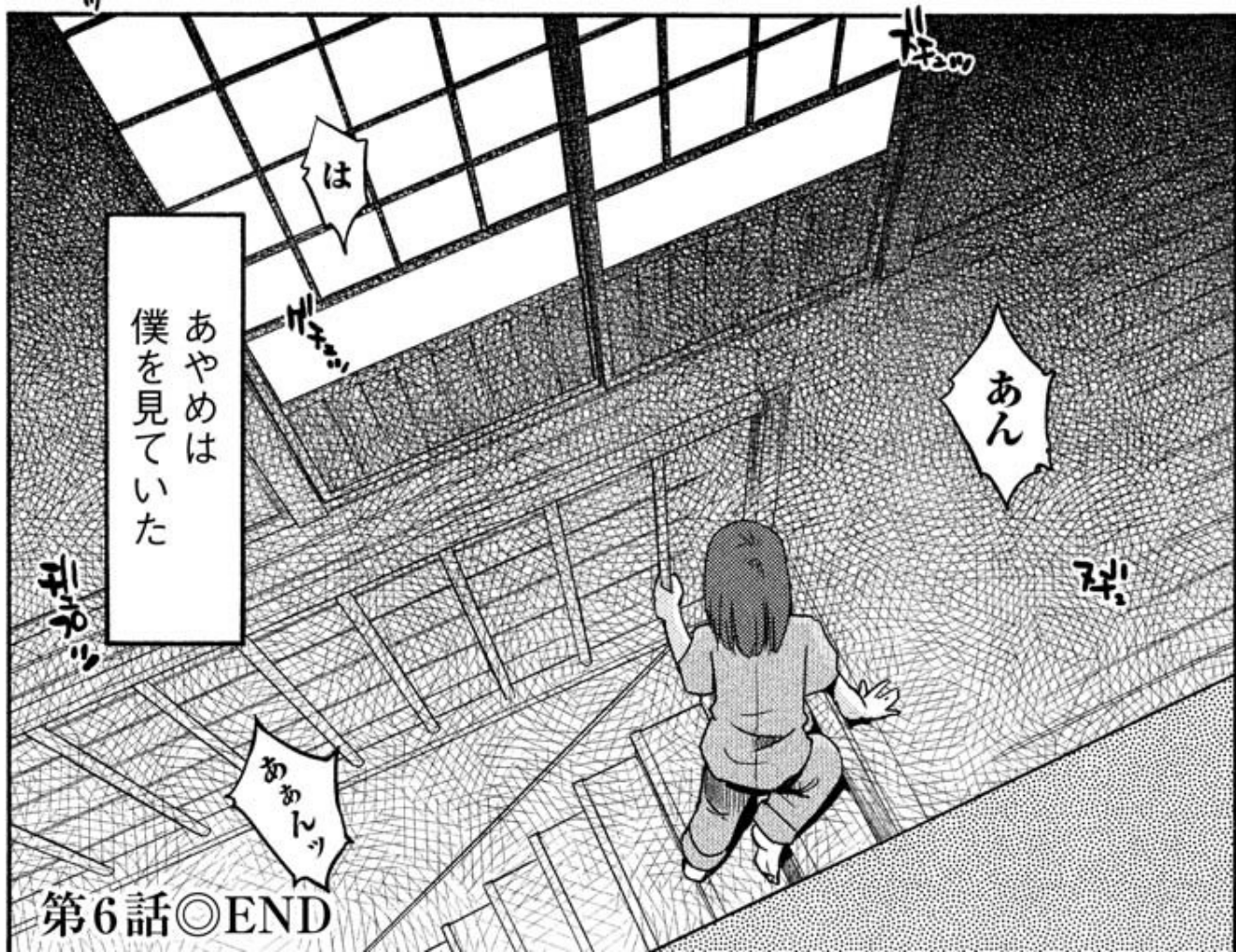
そんな僕を
知っている
あやめは

あはんッ
はあッ

グッ

青春
さん……ッ

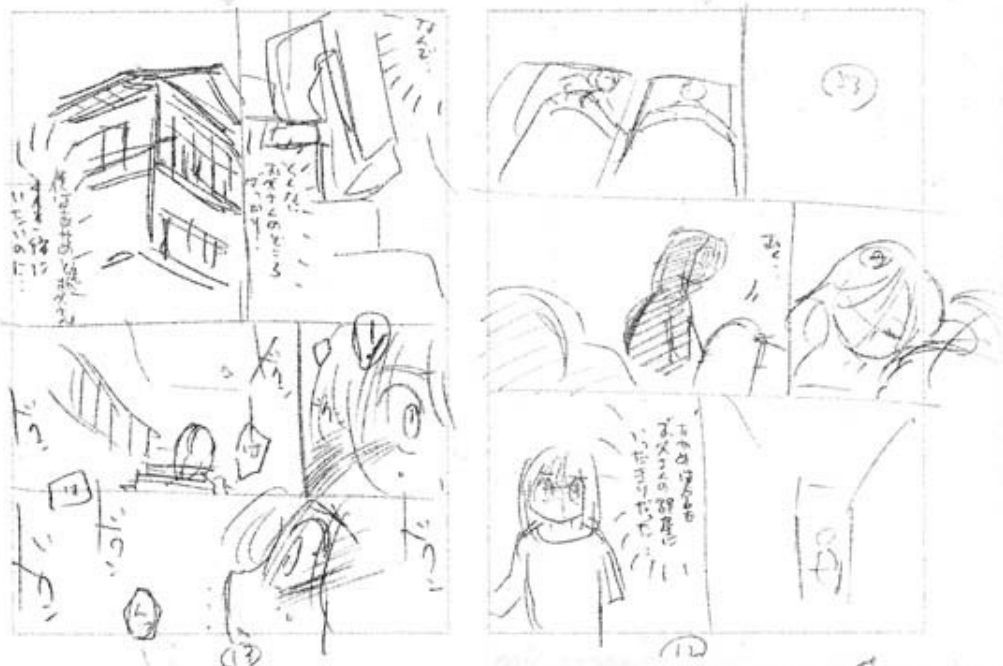
グッ



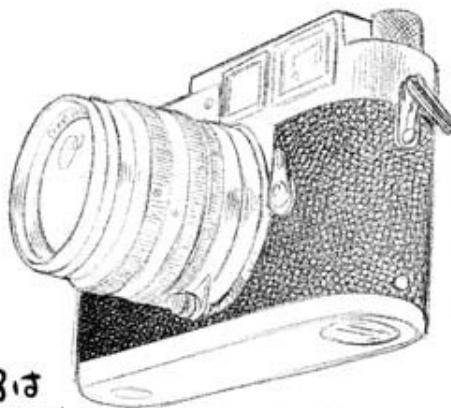
◆建物やお気に入りのコマとか。

陽の旅館の向かって左側にある純和風の四階部分。

そこはお父さんの部屋のみがあって普段は入ることのない場所として設定してます。指示出すときなんかは“天守閣”と呼んでたり(笑)。



お父さんの部屋にはカメラが数台あるのでしよう。愛用してるのはライカM3、レンズはズマリツト50mm。これは早い話作者の使ってるものを参考にしてます。シリアルが77万番台なので1955年製。作中で言ってるように陽君より11歳年上。これからも登場するんですかね。



ライカM3は
この77万番の初期型と
86万番の中期(?)。共に9mm f8.0



第6話でお父さんが“写真を撮る上で一番大事なこと”等を話してますがそれについてはCAMERAmagazine(エムック)13号に掲載された会田法行さんのコラムに感じ入りましてどうしても言わせたくなくて引用させて頂きました。ありがとうございました。

正確には『“Be there with f8” 絞りをF8にしてその場所にいること』

ひいては『その瞬間、その場所にいてカメラを構えなくては、良い写真は撮れない』という言葉でした。

ひるがお

Presented by
TSUYATSUYA



第7話 虚 うつろ

声を上げ続けた…

あ

ッ

あはあッ





あッ

ひッ

あッ

そおッ
奥ええのッ

んッ

スッ

グッ

はッ

はッ

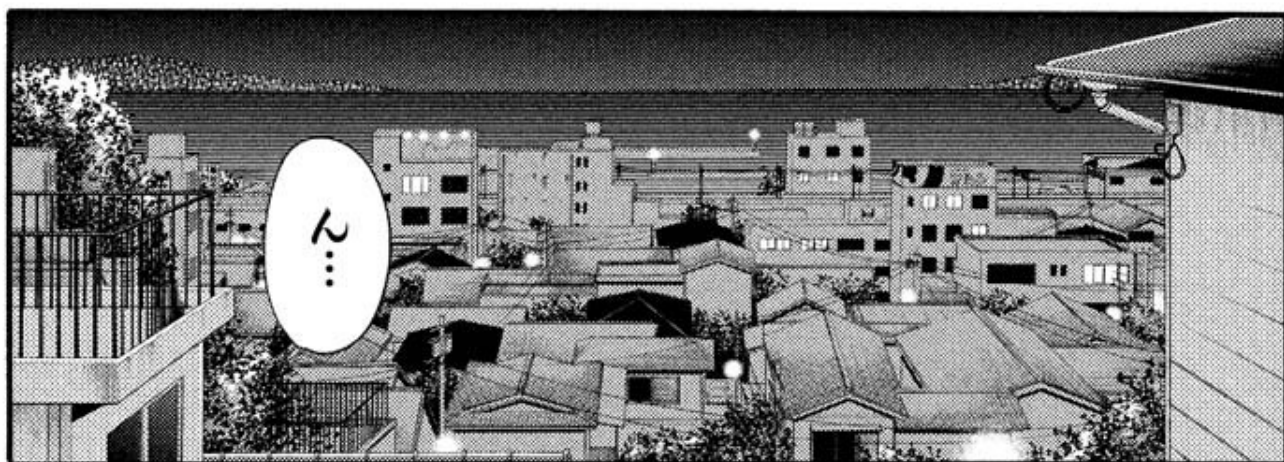
スッ

楽しいの...
うちの...
おめ...もっ...

ムチャムチャに
してッ
んッ

あッ

スッ







あ

あああッ

見られてるのに…

ひあッ

いっッ…

こんなに





青春さんに

はっ

されてるのん
思いながら
……



毎晩
してたんツ…

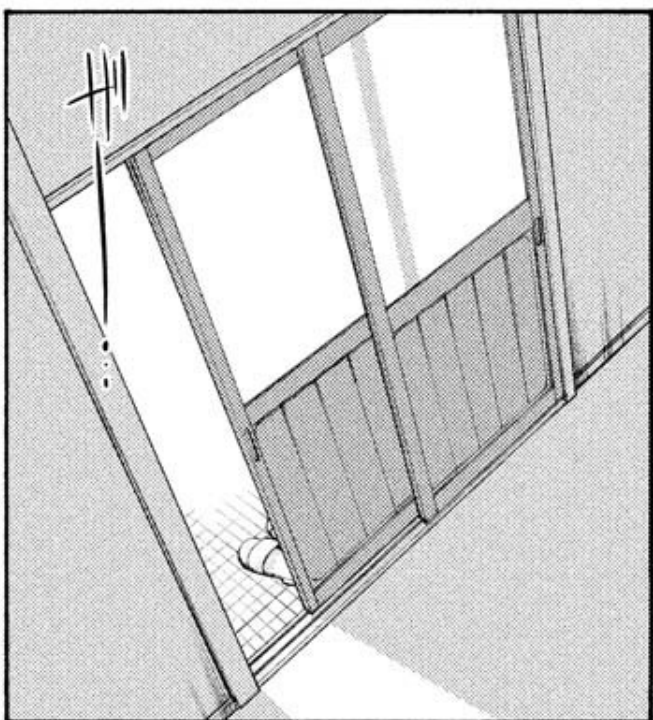
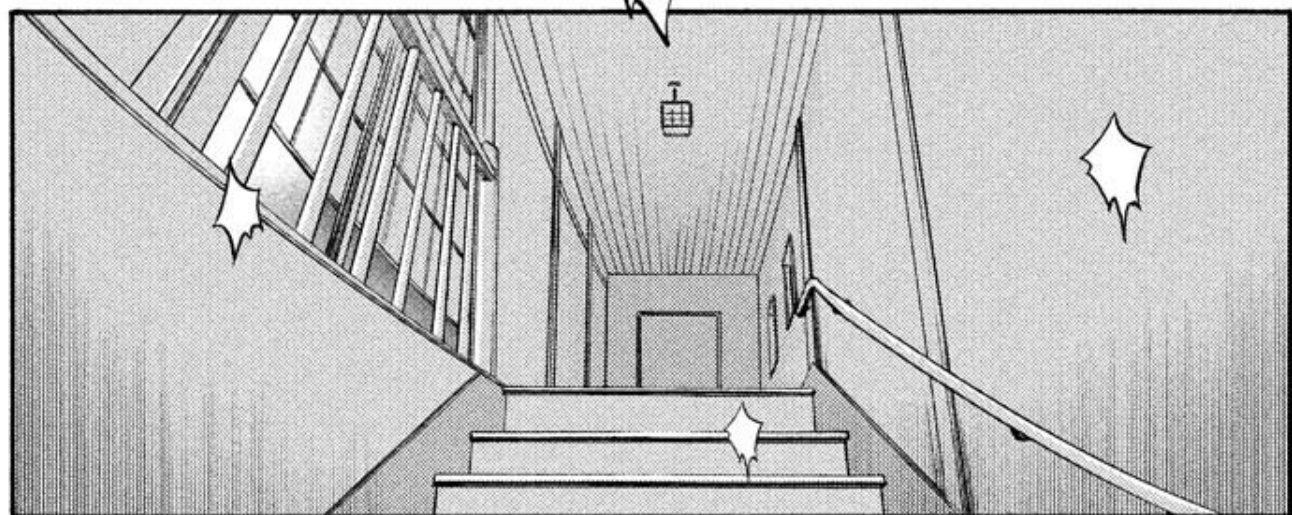


毎日…ッ

ん

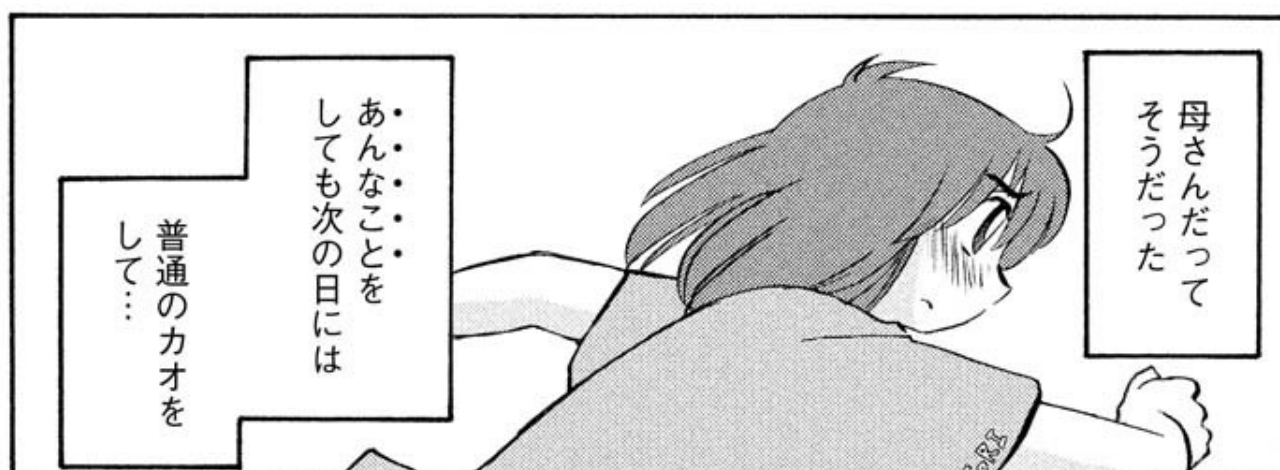
ん

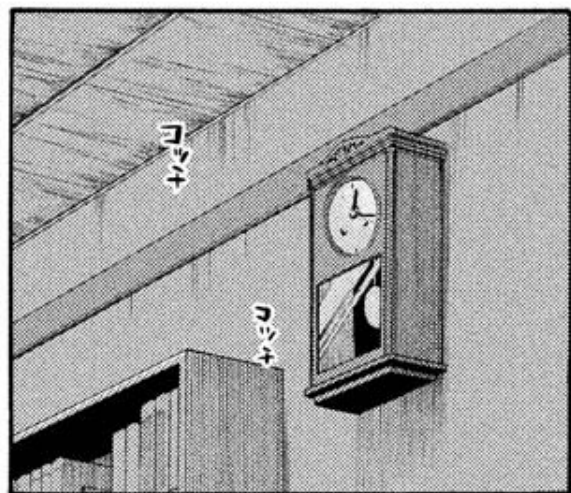


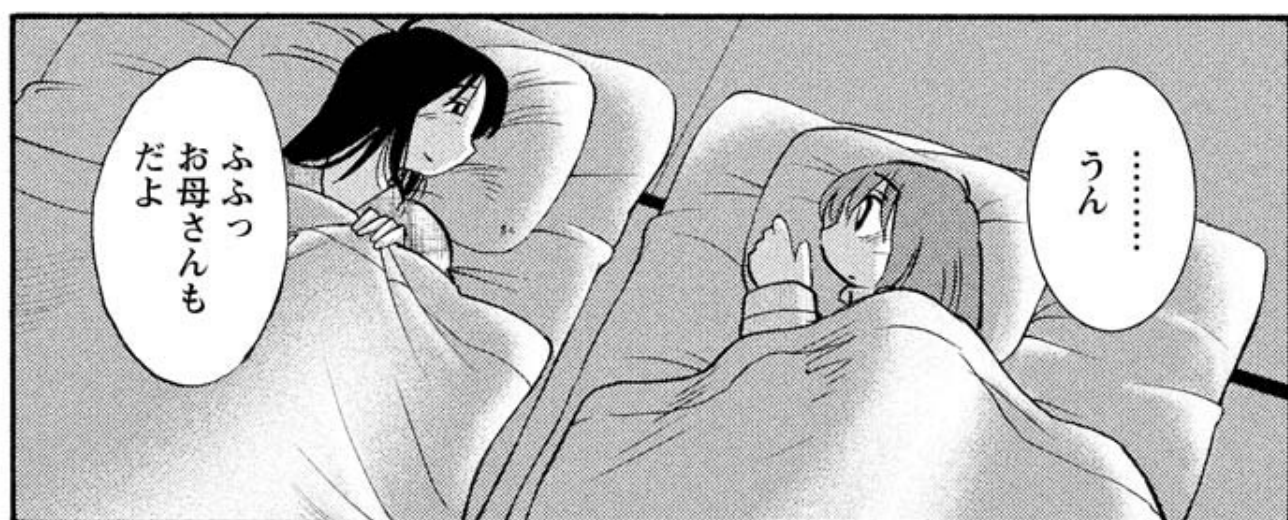












あし…
またはさんで
いい？

ああ
いいよ

あは…

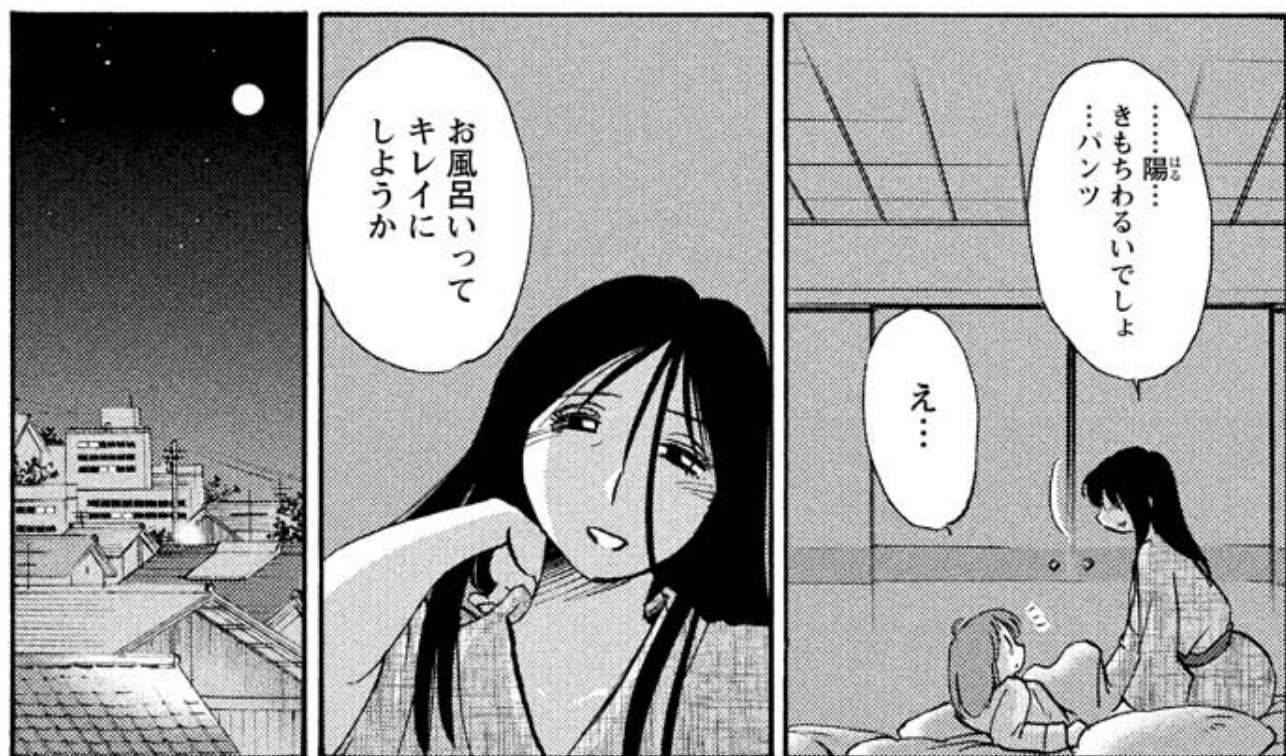
きもちいい

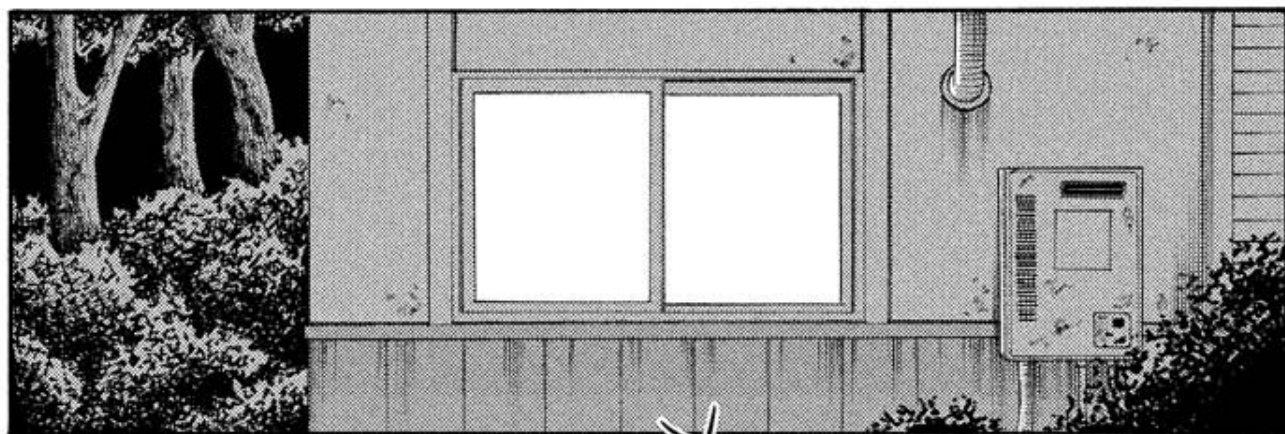
……

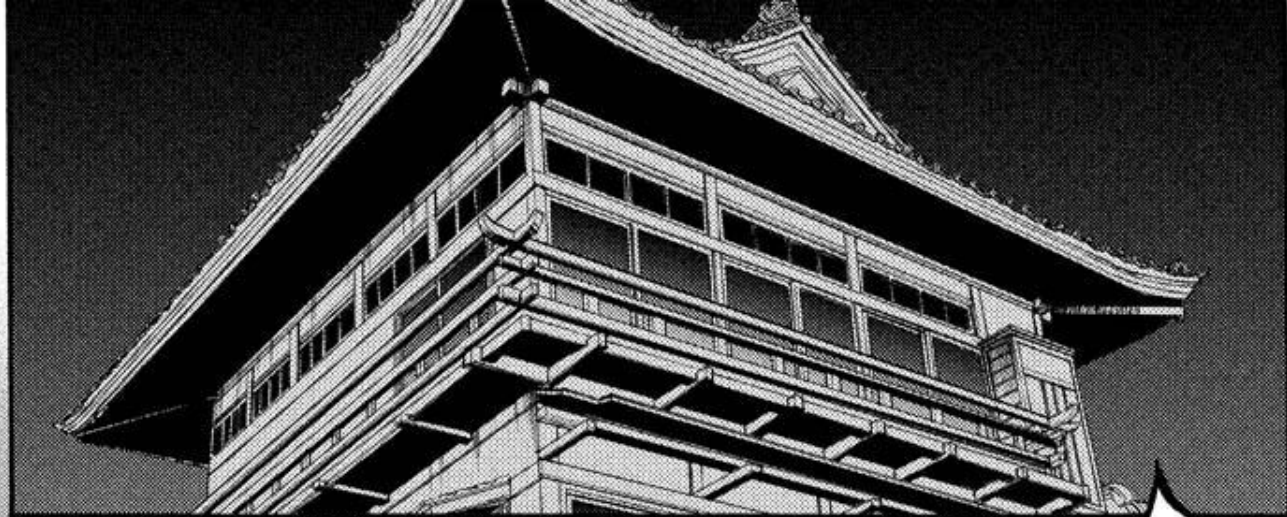
きもち…いいな…

—
?









は…ッ

あッ

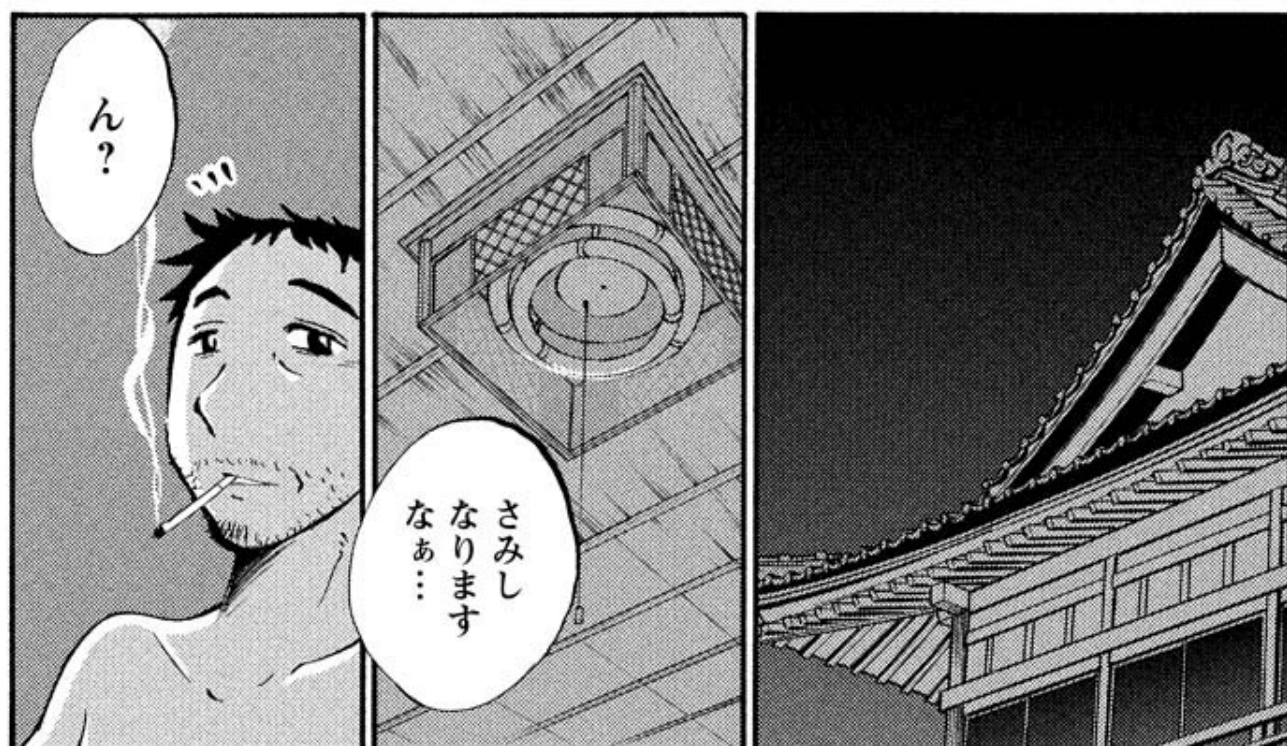
チュッ

チュッ

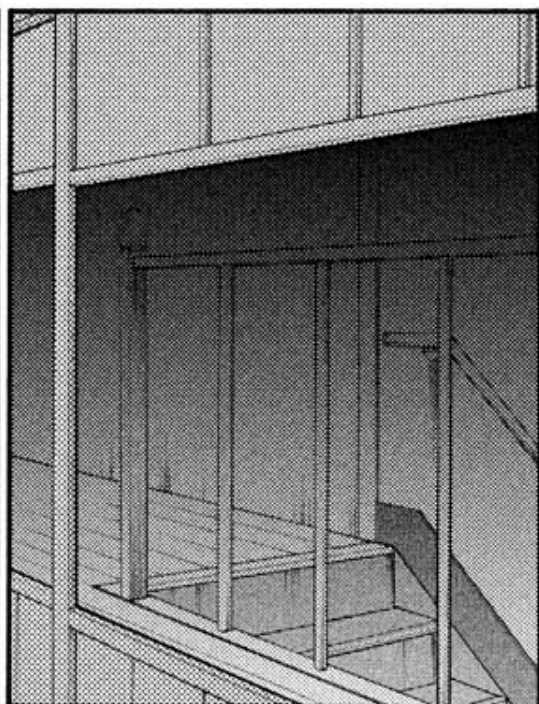
ツキッ

チュッ

第8話 分かち

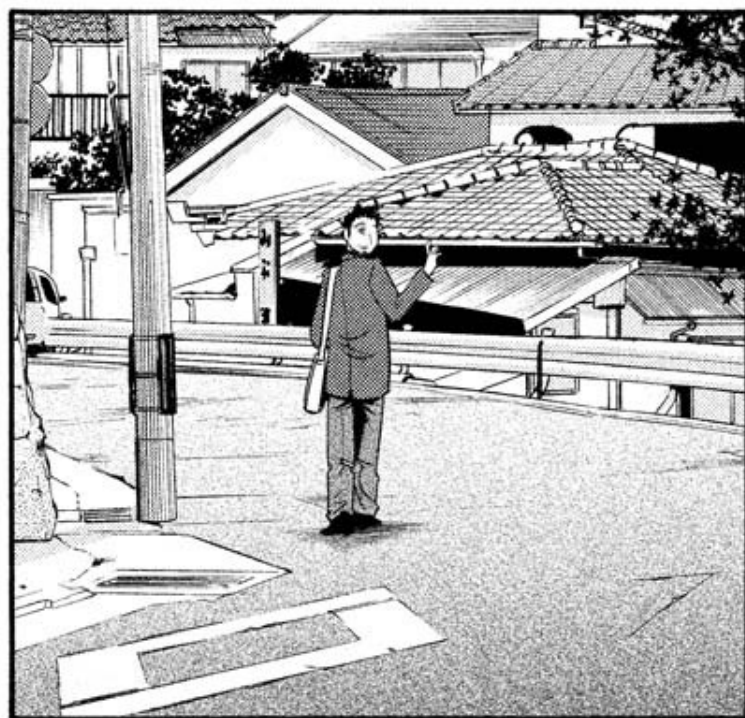


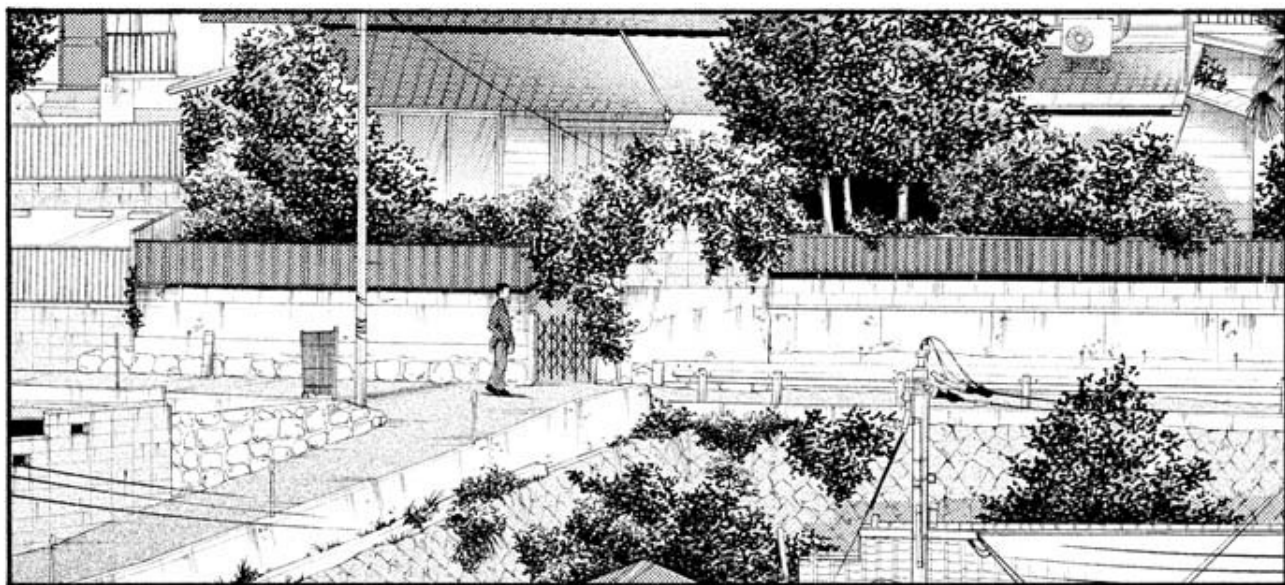








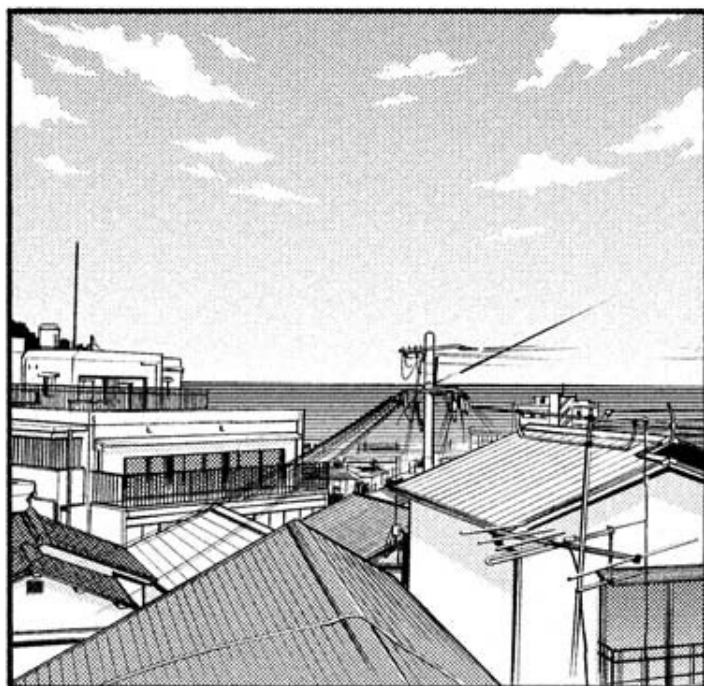








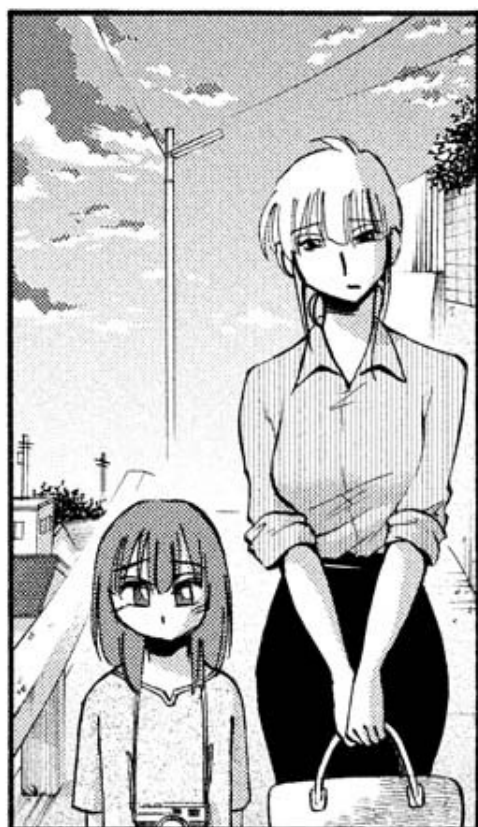




サマに
なってるじゃないか









これから
ひとりでごはんを
食べて

ひとり
でお風呂に
はいつて

ひとり
で
寝て…

僕にとっての
まるで
2人の母親

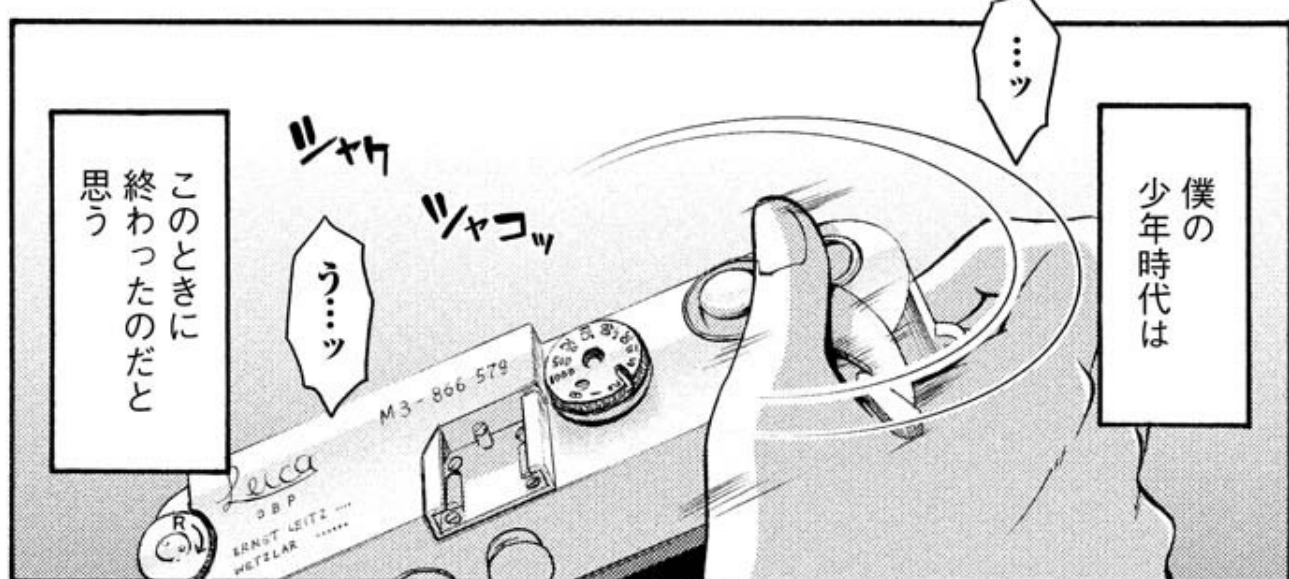
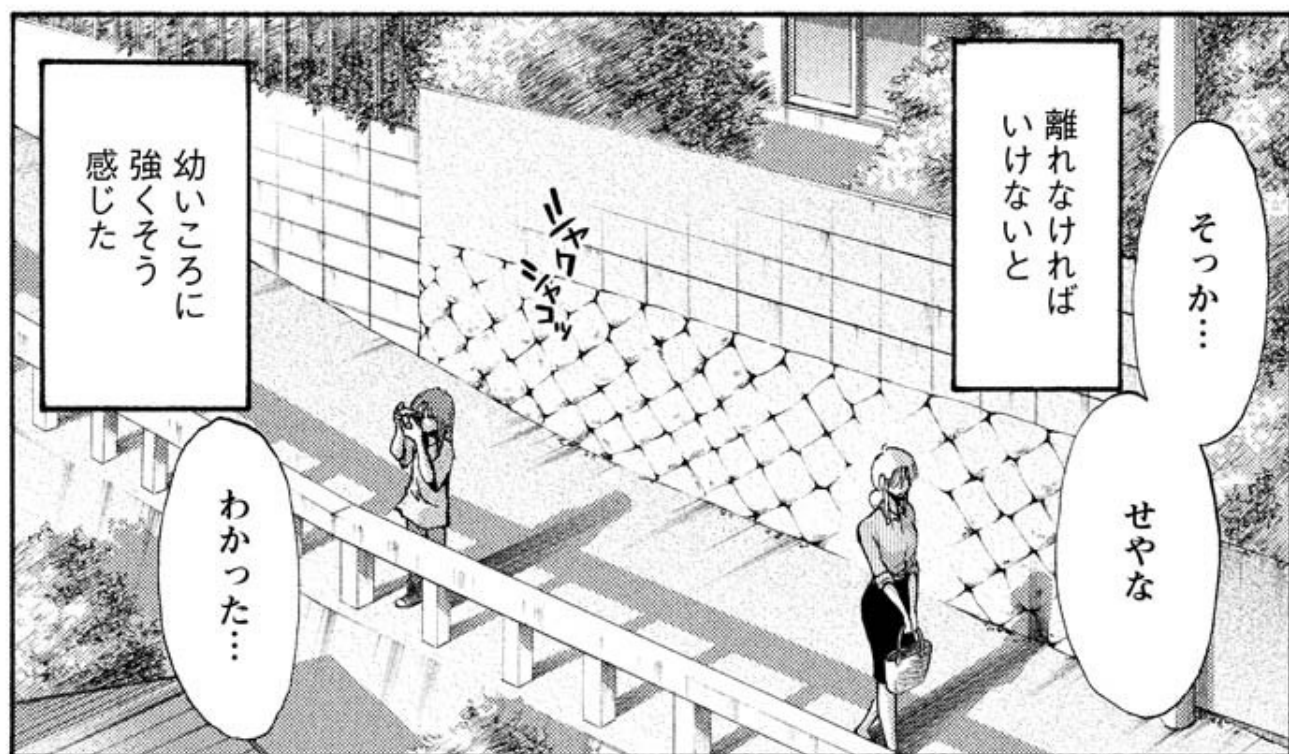
それは

僕はきつと
平気だから

けれど同時に
僕を惑わせる
女でもあったと思う

だから







初出

メンズヤング 2010年10月号、12月号、2011年2月号、4月号、6月号、8月号、10月号、12月号

よめがさ。

「ひるがお」第一巻

お買いあげありがとうございます。

女性に囲まれて育ってきた主人公がこの先

どんな風に大人になっていくのかその辺を楽しんで頂ければ幸いです。

で、近況ですがこのお話開始頃からほぼ完全にスタッフが入れ替わり、今はとなりのページで後書きを

書いてくれた若い二人がメインになりました。陽の住む町は「なんとなく」な艶々の脳内イメージなんですがあやふやな指定をがんばって絵にしてくれてありがたい限り。

さて二巻では歳を重ねた周りの女性たちがさらに活躍できればな、とか思ってます。

またおつきあい頂ければ幸いです。それではまた！

△今回の表紙



平成二十四年一月廿日

ひるがお



こんにちは、
アシスタントのきっしーです。
ひるがおは初めて先生に
『任せる』と言われて、
ハゲそうになるくらい緊張して
作業した思いで深い作品です。
背景等も1から作って描いて
いる部分が多いので、
凄く苦戦しました。
でもそのお陰でいろんな
事を学べて、自分でも
大きく成長できた
作品でもあります！

いやあ着物と少年の生足は
イイものですね♪

はじめまして。

アシスタントの棚瀬真です。
途中からこの作品に参加
させてもらっております！
毎回アワアワしながら
背景を描いて描いて
描いて……。
精進の日々です。



そして陽くんのかおいさ
に耐えながらの作業。
楽しくてしょうがないです！
これからも、陽くん共々
よろしくお願いします!!



ACTION COMICS

ひるがお①

2012年3月2日第1刷発行

著者……………^{つやつや}**艶々**

発行者……………**赤坂了生**

発行所……………**株式会社双葉社**
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818(営業)
電話03-5261-4846(編集)

装幀……………**古谷昌博**(神楽坂マガジン社)

印刷所……………**慶昌堂印刷株式会社**

製本所……………**株式会社若林製本工場**

落丁・乱丁の場合は送料双葉社負担でお取り替えいたします。
「製作部」あてにお送りください。ただし、古書店で購入したものについては
お取り替えできません。[電話] 03-5261-4822(製作部)
定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での
例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンや
デジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©TSUYATSUYA 2010
ISBN978-4-575-84039-1 C9979

双葉社ホームページ
<http://www.futabasha.co.jp/>
(双葉社の書籍・コミック・ムックが買えます。)

■この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。